

昭和9年(1934)設立

財務省許可 社団法人 昭和経済会

昭和23年1月号

昭和25年6月24日 第3種郵便物認可(毎月1回1日発行)  
昭和25年10月19日 日本国鉄道特別扱承認登録第1797号

# 昭和経済会

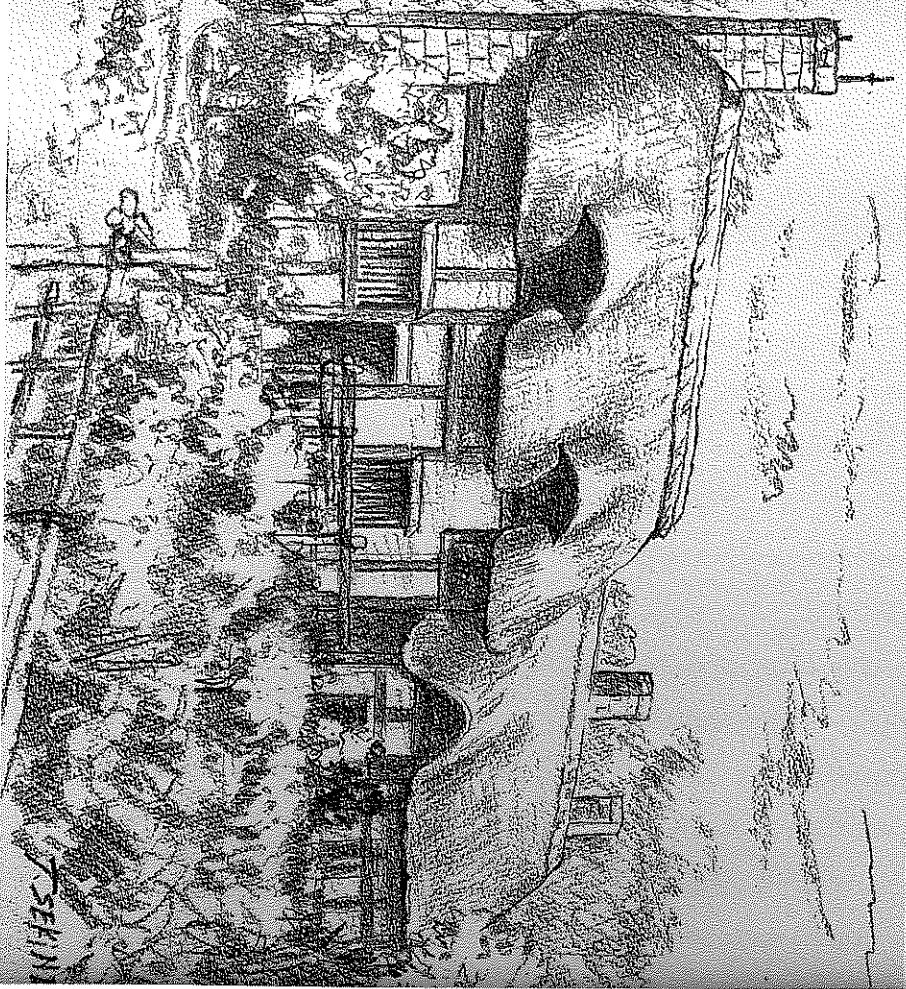
Manager Association of Japan

第62巻1号  
23年新春1月号

国会図書館永久保存

課題山積・日本の将来  
〔時局論壇〕「民主に300議席の呪縛」  
会社の活性化と人材の發揮

渡辺 喜美  
御厨 貴  
高木新二郎



アン・ハサウェイの生

## Showa Economic Study Association

企業家・経営者団体

財務省 本省許可

社団法人 昭和経済会

事務局 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2

TEL 6820-6000 • 3271-8846 FAX 3271-3104

<http://www.showa-ec.or.jp/>  
e-mail info@showa-ec.or.jp

次号·新春一月

- |                                        |       |               |       |       |      |
|----------------------------------------|-------|---------------|-------|-------|------|
| 卷頭言                                    | ..... | 大自然の恩惠        | ..... | 佐々木誠吾 | (2)  |
| 課題山積・日本の将来                             | ..... | 人生闘歩          | ..... | 渡辺 喜美 | (II) |
| (講稿)                                   |       |               |       |       |      |
| 「スビーチの國・アメリカ」                          | ..... | 「スビーチの國・アメリカ」 | ..... | ラムコ吉本 | (48) |
| 「民主に300議席の呪縛」                          | ..... | 昭経俳壇          | ..... | 遠藤 麗穂 | (62) |
| 「戦い終え政策協議の時」                           | ..... | 御厨 貴          | ..... | (19)  |      |
| 会社を活性化させたためには人材の能力を<br>150%引き出すことが一番大切 | ..... | 後記隨想          | ..... | 佐々木誠吾 | (56) |
| 表紙絵のことは                                | ..... | 関根 常雄         | ..... | 高木新二郎 | (24) |
| 謹賀廣告                                   | ..... | 堀江 忠男         | ..... | (35)  |      |
| わが回想記                                  | ..... | 物事、難しいことはない   | ..... | 井浦 康之 | (37) |
| 特別贊助会員                                 | ..... | (75)          |       |       |      |

らしめるのが教育であり、道徳であります。育てる心を持つ必要があります。これぞ知られた物に感動し、進んでアレテを称え、大切にはアレテに象徴されるよが美しいもの、優しくいの社会の荒廃を克服し、社会を再生する」と、ある識者は云つておられます。だとすると、「社会の荒廃は、人間の堕落から始まる」といふことがでます。

する挑戦であり、そのための努力精進である戦いです。一つは、未知の世界に対する戦いです。二つは、身に降りかかる困難を克服するためです。この戦いは一面性をもつていてあります。人生とは、そのための戦いであなりません。人生もアレテを持つように、日々努力し、精進し人格の陶冶を行つねば、日々翻つて、人間もアレテを持つように、日々

神となることができるといつてあります。神とならぬ者たちがぬきんでて、いの世で王となり、時の人間社会でも、そしした素質や能力を持

広くマグマの上に活動して、私たちが気付かせん。大転換の意味があらゆる面で深層にありました、単なる出来事と工程になるのかもしれど今日の今に至る助走段階を懸命に走つてきました。これまでの間に生々しくあるとありますが、それはきっといつに四、五年のうちに起つてきたりであります。それが枚舉にいとまがない、そしあした大事件が特に、政治的、経済的、社会的に挙げられれば、洋といたクローバル化に乗つて大きくなりかるかもしれません。

そのことを色々な意味を含めて証明することを痛感するのです。後世の歴史が、或いは今年は歴史的に見て大きな転換点にあること身辺ばかり、世界も慌しくを感じて返を感じました。いの年の越し方を振り返り返り新春を寿ぎ、みなさまの健康と、多く

アレテ王者、勇者を目指す

賞賛され、あいがれの対象になりました。全てに優れたアレテを持つものは尊敬され、してや人間ににおいては愛や美しさや、肉体やピクトにしても、アキレスにしても然り、またから感謝に授かつたものであります。キリストは生きものはそれぞれが独自のアレテを持つに、孔雀は美しい羽根を広げるといひます。鳥は早く飛び、鳥は早く飛び、美しい走り、魚は良く泳ぎ、馬は早く走ります。馬は早く走るが常であります。最も能力をもつものが尊象徴されるがゆうに、最も能力も昔から、オリーブの意味は一千年以上も昔から、オリーブの性といふ意味でも使われております。言葉があります。最も優れたもの、卓越とか、徳があります。ギリシャ語で (arete) アレテといふ言葉

の歴史の形成は、徐々に進められてきていました。そしあした意味で転換点と指摘する意味ないさくに蕭々と進んでいくことなのでし

匂ひ放つひらき  
山茶花の赤く燃えそが花びらに纏れて

かみひじとなりして  
務務に知性と感性と徳性をひろめて豊

高く仰ぐほろば  
初春の真澄の空のくみかみに富士やま

元旦  
お願い申します。  
援を賜りたりへ、い鞭撻の程を、よろしく  
今年もまた、昭和経済会の活躍に、い支  
幸を心から祈念申し上げます。

佐々木誠吾

卷頭言

し、繰り返しになりますが、来年の抱負として、私は謹賀新年の課題をそとに集中

避したりしてあります。意味無く、恐らく顛末を待つのみであるから、むしろ人との間に於いて永遠でなく悔い改めているといふに過ぎません。勝者は人の命がある限り、いつまでいることを知りません。思苦しき止まるところに立ち、やつかみ、そして非難、中傷と止まるところに立つことはあります。常に競争社会におかれている手の中に收めた時、人の気持ちは逆転する一進の過程は、専横的です。その結果、一位を得て頂上を極めようとする努力と精

す所以がそこにあります。

人としての自制心であり、中庸であります。それは緩急よろしくを得た戦術とします。それには勇断が時に求められます。即ち退に対する勇断が時に求められます。人生を戦略的にす。それはそれとして、受け入れていくことで、先人たちの言葉は意味深く響いてきます。した時に尚注意を怠つてはならない宿命もあります。そういう活動を通じて我々には、過酷に立ち向かって活動的な思想とも受け止められれます。現実の経済社会から来る気の緩み、油斷に対する警鐘とも受け取れますし、一方、仏教思想のように誦懺めとしして、栄枯盛衰のことわりを、人への戒奢れるもの久しからずただ春の夜の夢の如くです。平家物語を引き合ひに出すまでもなく、世に無情感をしみじみと味わうてあります。

の極面は悲劇と云はざりません。人の教祖は本人の言動がもたらしたものであります。この意見を聞くなりります。謂つてこの必要とします。その上、本人も傲慢になつてゐるのです。企業でしてあへんが、極めて偉い人を靈の上の上の人と思ひ、寄付かきます。普通の人、良識を持つた人たちが、同時に警戒心を持ち、人を避けようになつて全く聞かなくなる時が多々あります。本人も又人の意見を古めた人は、畏敵のあまり人が寄り付かなくなる場合があります。一位を目指して努力して獲得した王座、頂点にて注意しなければならぬことがあります。凡庸な話に戻りますが、同時に、自ら律します。それが働くかくなつて、なお先を目指す気概

で、現実の世は過酷なのは勿論であります。遇をを迎える場合もあります。達成觀と矛盾しないで、時には皮肉ですが、晩年が悲しい孤独な境か。然と集める結果になるのですが、世の人の尊敬であります。又そつと努力する人にとっては、自ら成功した人となりが、悔いのない人生歩みをもつたからには、そつとした意味において一生を全うして、人生を授かる事に立派に勝るために生き残ります。樂しく爽やかに、世のため人のため派な功績を残し、社会に貢献した人に、それ自体立派し、尚又、頂上を極めた人は、その分野で成り、分野があります。その道、その分野で成り、人はそれで専念し、進むべき道があり、これには決して堕眼をむさぼるより差別主義ではありません。

一見、アレテは優越主義にも聞こえますが、

王様から乞食に転落したに等しいといわね  
こんなにも夢るものかと、富者から貧者に  
としてさらには惨憺たる状況です。現場は実感  
買力の最大の力となる不動産、株式の資産価値  
されてきています。国民所得はもとより、隣  
よつて惹起された一〇年来のデフレに歴史的  
階み外す結果となつてしましました。それに  
まどなつて、影響は自然治癒の限界を大きくま  
と、その後の無策で景気後退が放置されました  
に探られた、あの平成二年始めた総量規制  
減少によつてマイナス経済成長が続いてき  
説であります。日本は今、バブル崩壊と人口  
国力と経済発展の余地がないといいうのが通  
思つて一般的には、人口減少の国に於いて  
長は、当然とは云いながら驚異に価します。  
三億強の人口増加であります。人口増加を背

著な發展とはいえ、三十年の間に驚くなかれ  
九億六千万でした。その後の改革、解放の頭  
で中國北京に渡りましたが、その時の人口は  
一二八年前、私たちが經濟使節団を編成し  
発的なものがありました。  
点ありました。後進国特有の人口増加は爆  
政府の実効的統治が隅々まで及ばなかつた  
ました。日本の一十六倍の国土を有しながら、  
の經濟社會構造は未だ後進国に置かれていた  
を振り返つてみると、文化大革命までの中國  
す。ちなみに中國の過去三十余年の歴的変動  
食い止めいくにかかるにつけて最小限に  
上の人口の自然減少をいかにして最小限に  
路線に乗せて行くには、少なくともそれが以  
状は、經濟の流れ以上の停滞を回避し、成長  
先にも述べたことがあります、日本の現  
転換すべきではないかと痛感します。

本の国情と特殊性を發揮するには、端的に云

の転換も必須の要件であります。その時、日  
向を強める日本の将来を考えると、産業構造の傾  
人口構成で少子化社会と、高齢化社会の傾  
業としています。  
設備集約型の産業で、第三は知識集約型の産  
第一は労働集約型産業であります。第二は  
階をへているのが注目をひいていました。段  
へきものがあるとともに、どうしても志向してゆく  
て生き残るために、成長産業として  
バル化する經濟社会において成長産業と  
会理事の高木新一郎氏が、これからグローバ  
立九〇周年記念行事に参加して講演した当  
当会の会員であるT社(第一部上場)の創

経済の成長・これから日本

\*\*\*\*\*

(十一月四日)

新年を迎へん  
この年を達者にすべし  
さるべく各位の  
+

健勝を祈るものとさせしてください。  
多大なご支援とご愛顧を感謝して、一層の  
謝を繰り返しております。今年一年、皆様の  
時代を先取りし、進取の精神にて新陳代  
にたつて時代の変化に翻弄されるにとどめ,  
きました。常に伝統と歴史と確実な理念の上  
活動を開催し、隆々發展の道を歩むことが出  
な心境になるものと思つております。昭和經  
済会は今年も各位の絶大なご支援によつて  
残り少なくなつたこの年を省みながら、來  
い流して精進に勤めたいと念願しております  
あるこの時代を大觀し、原点に返つて心を洗  
て継続し、大きな歴史の転換点を形成しつ

海外流出を喰い止め、国内の投資の拡大、雇用への波及効果をもたらし、ひいては企業の活動の活性化への道が少しだけ支援されるとが期待されます。それは又、経済活動の一つが「成長戦略」を掲げる菅政権の久々の快打であります。以上で法人税減税は、目玉商品として掲げておる政

運びとなりました。  
それを盛り込んで十六日の閣議で決定する  
で5%引き下げが指示され、税制改正大綱に  
の調整が難航していましたが、菅首相の勇断  
しました。野田財務大臣と玄葉国家戦略相と  
ます。菅首相は久々にリーダーシップを發揮  
念願だった法人税の税率が引き下げられ

#### 法人税5%引き下げ

いとは必ず須の余件でしょ。この時代は第二次世界大戦後の水準に回帰したといつてす  
が、人口構成に於ける年齢の配分に、なお大  
きな内容の相違があることは云づくとも  
が、人口と予想されます。推計ですが、恐らく日本  
の総人口は約三五〇〇万人減少し、約九五〇  
〇万人と予想されます。世界人口一〇〇億人を想定し、日本  
本の人口が九五〇〇万人とした場合、世界に  
奔流する経済グローバル化の状況のなか、日  
本人がどのよくな世界観、価値觀を以て、如何に対処して自らの生活と生存を持続可能  
とするかの戦略が、今から検討しておへべき  
ことば必須の余件でしょ。

日本は、これに追いついてゆけるでしょうか。  
ど、スピードも加速されていくはずです。  
の経済は、それに向かって構造的に大変化を  
する勢いとみて良いでしょう。同時代に世界

実施しなければなりません。(十二月十三日)  
めにも国内の戦略的な経済政策、対策を準備  
として、その目標に向かって邁進し、そのため  
なくして、自由に拡大競争するにとて是  
的に参加するにとてあります。貿易の壁を  
なつておる環太平洋経済連携協定にも、積極  
結び実施を初め、自由貿易協定を推進するそ  
の先頭に立つべきであります。同時に焦眉と  
有利な状況を開拓するためにも、FTAの締  
多国間との経済協力関係の樹立であります。  
国内外の経済の短・中期的展望としては  
す。

を余儀なくされるにとて必定の局面であります  
に歴史的大変化であり、日本が政策の大転換  
の黒船到来であり、歴史的開国に匹敵する正

つとすると十二億人増加すると予想しました。ひ  
界の総人口は九十一億人となり、三十年の間  
国連の発表によると二〇五〇年までに世  
に十一億人増加するに二〇〇億強も増加

#### 人口増加と減少の国

\*  
(十二月十日)  
策の発動が望まれます。  
ます。政府当局の斬新且つ有効で、大胆な政  
策で、地方経済の活性化には程遠いものがあり  
ます。崩壊したままの殘骸は、地方ほど頑著  
されたまま、その時の影響は未だに続いている  
る汚点であります。その責任の所在が不間に残  
じています。平成一年に始まつた不動産総量  
規制と、その放置は、金融政策の歴史上に残  
劣な政策を他山の石として賛明な対策を講  
世界各國は、特に日本のバル崩壊後の拙  
ばなりません。

私に与えられる時間は五分しかありません。五質問時間についても、本会議での代表質疑でも取り上げて頂く機会が少ないので。国会であります。小さな政党といつては大メディアに頂いてお話をされることが党の宣伝と力の全てで支援団体もありません。組織もありません。

「みんなの党」といふのは自慢ではありません

思っております。

演の機会を与えて頂きまして大変ありがとうございます。いたのが御縁だったと思いまが、いつして講わるお嬢さんで、何かの番組にて一緒にさせて頂らうにテレビ東京のアナウンサーをしてお様のお嬢さんからお話を頂きました。ご案内の佐々木理事長ありがとうございました。実は佐々木理事長ありがとうございました。今日は日本の歴史と伝統のある昭和皆さん今晩は。みんなの党代表の渡辺喜美です



衆議院議員  
みんなの党代表  
渡辺 喜美

## 課題山積、日本の将来

が、労働者支援、消費者支援の革新政党下で、政権時代に果たしたなかつた法人税の減税されながら政権を担当してきた自民党、それにして、も資本主義経済企業重視と批判しつながらもこれを期待する所以あります。そくなつた分、国内産業の活性化と、競争率が安ままだ充分とは云えませんが、税率が安い立たされてきました。企業の国際競争の上でも不利な立場になります。日本の法人税率が際立って高いことが判り、シンガポール、台湾が十九%となつておりますと、日本は四〇・六一%、ドイツが一九・一%、イギリスが二八%、中国が二五%、ちなみに法人税を国際比較のため列挙します。万全の努力を傾注すべきであります。どうではありますか。期待に応えて企業側もつながらつてゆくことを大いに期待してい用機会の拡大と創出、アフレ脱却に少しでも

もかも知れません。(十一月十五日)  
政治家の理念、信念実行がいかに当てあるならぬいか、しかししながら如何に重要であるにきじであります。

経済の指導的役割を怠つてきたか、猛省すべく利権がらみに翻弄され、真に清廉な自由主義にならしなく、墮落しきつていいたかがわからります。企業家寄りといわれてきていたがら、の間、政権を担当してきた自民党政治が如何とも皮肉なことであります。言うなれば長年政治家、菅首相によつて実行されるとは、何しかも草の根運動から出て、市民運動出身の

いづつしたみんなの党の特徴は、いつかの既存政党にないものを持つております。結局、今までの既存の政党といつのは、共产党とか公明党とか民主党を党とかいぢのは別ですが、自民党とか民主党を

十四名の候補者にならしておせります。ただ、あいつは田て来るのですね。だから、みんなの党が、そりも草の根の根っこにから進み、金もない組織もない支援団体もない結局、

そういう格好をしながら、実は裏では「みんなの  
しゃるのです。つまり表では自民党の応援団だ  
しめすと、隠れキリスト教のようの方がいらっしゃ  
でこんなに頂けたのかなあと思って分析を致  
して千四百万票も頂いたわけであります。なん  
それから選挙区で六百万票頂きました。合計

たたかれてお伺いする。佐々木明子さんにもお願ひして思つておりました。それが一人は立てかけられました。佐々木明子さんには、當時は海外に行つておられたときがでました。四十七都道府県でアーヴィング・ワードでARB法オーティエア作戦アラスカに出ました。しかしお金がない四十名しか出ませんでした。しかし結果として四十名しか出ませんでした。しかし金額としては、組織がないといふ「みんなの党」が四十四名の候補者を出すことができたと云つて、はは、これに大変意義深く感謝しております。投票率は去るそれだけれど、八百万票頂きました。投票率は去年の衆院選よりも十人。一セシティヘアから低かったのです。

す。又、なぜ四十四名という凄い方が立候補できただの申しますと、実はみんなの党といつては、国会の中で作った政黨ではありますん。国会の垣根を飛び越えて「草の根国民運動」をいたしました。私が自民党を離党したのが去年の一月です。そこから江田憲司と一緒にになって、毎週のように北海道から九州にかけて毎週の何処かに行つてはタラソ・ハイキングをやつたり、いらっしゃた講演会をして頂いたり、街頭演説をやつたり、何十ヵ所も歩きました。結局、それを見た松阪市では、当時、市長選挙でころぶに根つて生えてきたのですね。

どうう数字は出せん。本当に感謝を致しております  
した方々がいなかつたら、とにかく四百万と  
いう中の中でござりやうと思ひますが、そ  
党「を応援して下さりていただき、しかもする

当時、福島瑞穂さん（の社民党が三百万票ですから、あちらの方は創業六十年ですから、如何に我々が、いきなり大変な票を国民の皆さんから頂いたかがお判りになるかと思います。今年の参院選ですが、候補者を四十七都道府県に

では三百万票を頂いたのです。それが昨年の選挙で消されてしまいました。それとも今年の選挙で逮捕されて、「みんなの党」のニースが全く記者発表の三時間後に酒井典子が突然自首しました。されからフレータンするぞとなつた時、どうしたのですね。八月八日、選挙の直前に作りました。とか経つておりません。去年の八月八日に作いで第三位です。政党を作つて、まだ一年ちょっと民民主党、自民党。最近は自民党、民主党に次い非常に期待値が高いのです。どの世論調査でもしあしか世論調査をやりますと、みんなの党はす。すから、嘘偽りがちですが今の現状でいいまい分で喋るといふのは大変無理でござります。

この一年何ヶ月を見ますと、最初は鳩山さんは政権をとつて、何んで鳩山内閣が潰れたのだと云つておられます。日・米・中・正三角形論と云うのを小沢さんが云つておられますね。東アジア共同体をもち云つておりましたか、鳩山さんはそれには三三角形で、東アジア共同体をもち云つたから、中國に決まつて何が中心になるかといつたら、中國に決まつてありますね。結局、そつした鳥瞰図のなから、普天問問題といつのは、鳩山さんは民主党のマニフェストに書かれていないうどを語つたのですね。つまり普天問移設は県外移設であると。福島瑞穂さんは誰が言つていたかと云つと、鳩山さんは民主党的なから、いつを取られたり入れられたりしたのかといつておられるわけですね。社民党は全国で三百万票の票が簡単な話です。社民党を頂くために、普天問は県外しかないです。その票を頂くためには、この組織票は固いわけであるわけですね。で、この組織票は全國で三百万票の票がいついたいとを言つていていたのですね。何で社民党の言つてあるのが言つていていたのかといつうといふふんが言つていていたのです。何で社民党の言つてあるわけですね。つまり普天問移設は県外移設であるのですね。

一方、民主党の方はいつも政黨の支持であつたかといいますと、これは自民党的田中派の人達、例えば小沢さんです。それから「さきがけ」、これは自民党的福田派の人達ですね。それから細川さん日本新党系の人達ですが、とか、社会党系の人達、労働組合系の人達が、まさに政権交代を目指して結集したのですね。

三木派の大番頭がいました。その奥様が森山真弓先生ですね。そういうわけであります。割って入るわけではありません。そうすると渡辺美智雄が三入争うわけです。船田中先生が風邪をひいて寝込んでいる耳もとで、船田中先生に、「渡辺美智雄が・・・」と言つて、船田先生は、が同じ自民党の派閥で切磋琢磨するというのが當時の自民党的力の源泉でありました。これは政策とか理念とか、我々の言葉で云うアシエントなどとは全く関係ありませんでした。

見ていた、どうも特徴があるかといふと、新人候補のリクルートをする時によく解かるのがないから民主党から行へか、あるいは最近は逆ですね。選挙区で民主党がいるので仕方がないから国民党でいくか、いくつも感じてあります。はつきり言つて政党なんか、どちらでも構わないのです。とにかく選挙のためには、選挙で合意するためには、選挙互助会みたいな組織にならなければなりません。これがかつて与党時代に派閥連合政党といわれていました。五大派閥がありました。それは何故かといいますと、当時は中選挙区制でしたから、定員五人で、同じ自民党で五人立候補で生きるわけですね。そうすると選出されたにはグループが分かれていってになります。『三角大福』などという時代があつたわけです。例えは栃木県第一区では衆議院議長を二回もされた船田中先生がいました。それもあります。

三原則の例外の拡大みたいたいな話です。そんなふうに新し防衛大綱にも盛り込めず、それに先づ武器輸出三原則は武器輸出三原則全開発などといつておられるわけですが、武器輸出三原則など、これははつきり言えば武器の共同開発などといつておられるわけですが、武器輸出三原則なんが、福島覚音と又よりを渠そいつはありますから、この間たって別れた女房でいるのですが、この間たって別れた女房で結局、昔みたいになつて口では日米同盟とはい

日本米同盟との、いわゆる皮膚感覚としてお判りになつた方ではあります。しかし日本に来るたまでは、本當行によへ勉強させて、日本米同盟の大切さ、これを東京演説で語つわたけです。われは日本本邦にては、ほんとうにヤンヌはかうたのですね。とにかく鳴田さんとその前日日本に來てから、オバノマヤガボーラーが金銭として金を出し、それで、オバノマヤガボーラーが何處かに行なつて、本當行の運営にかかへます。

オバマ大統領は、内閣の大臣にワシントンで生まれた父さんがケニア人、そしてイギリスで育つていています。もちろんアメリカの本流の、自由と民主主義という価値感とは異質の世界に育つておられたのです。ハーバード大学に入ってきたから、そつと力を強めて身に付けたといふ方なわけです。したがって大統領になつてから、そつと力を強めて身に付けたと

が日本に来た時に語っている話次のですね。年出でてきたわけではなくて、去年オバマ大統領ね。まさにへいへいわれは新機軸です。いの構想は今まで見てきたと云つわんばかりますので、いわれは言つたがために経済連携協定に、アメリカが入ったこれが案内の通り、チリとかブルネイとか始めたその経済連携協定に、アメリカが入つてみれば中國を除いた連携協定なわけですね。まさにへいへいわれは新機軸です。いの構想は今

今度はTCPだときたまけです。

崩壊のあと昔内閣になつて今度は日米同盟重視だと、口では云つわけです。日・米・中・三  
角形だからTPP、東アジア共同体ではなくて、

०८

普天間問題と云うのは、橋本内閣の時に、政治主導で始まつた話です。当時、橋本総理の時に、沖縄の少女暴行事件といつのがありました。そこで普天間の危険除去を何とかやりました。宣傳が橋本総理に云つたそうです。それは、いふなんないといふ始めたから反米主義者だと云われますよ、とか、外交官痴といわれますよ、とか、橋本総理は沖縄戦で肉親を亡へしておられますが。ですから、そうした思いを当時の政治家は皆持つていました。私の親父もそうでした。一年に一回沖縄には行くという約束をしていました。平成七年の八月に行つた時には、親父も来ました。中痛くて仕方がなかつたのですが、私の妹がドクターでしたので、そのドクターを連れて車椅子で行きました。結果、三週間後に亡くなりました。

決定的にならる中で行われた。それを多くのメディアへの交代は、国民の熱狂的な変化への願望がどうしてか。確かに自民党政権から民主党政

ずじめだった。

"の意義は、昨年九月の段階では明確にされた"二大政党"が競つたあげくの"政権交代の意義の確定である。そもそも日本で初めての方向性が固まつた感じだ。それは政権交代的菅直人改造内閣の出現を見て、選挙政局も終わる。

より、仕かけられたりする。

家機能の動きが鋭くなる。外からいへばかが停滞するばかりか、経済も行政もすゝべての国四ヶ月に三回とはいへら何でも多すぎ。政治選、七月の参院選、そして九月の民主党代表選が打たれた。六月の鳩山退陣に伴う民主党代表選挙また選挙の政治日程に、ひとまず終止符



御厨 貴

東京大学教授

## 「時局論壇」

### 民主に二〇〇議席の呪縛



作品 関根 常雄

と云ふに、日本の政治は非常に粗末な状況になつております。 続く(文責・佐々木)  
の話合にも入れて貰えないのです。が、事前に少しも見えませぬ。だから早い話が、事が今菅内閣を見たら、そんな覚悟が有るようないろんな事は覚悟を以てやらしかねないです。とにかく、いろいろTPで関税がゼロになつたとして実は十五年後です。十五年後の事を慶祝とかが、いろいろTPといつての菅内閣では無理ですね。覚悟がありません。  
本当に何をやつていいのかと困ります。TP本送りしてしまつていいのです。いいの人たちは

の頭数では菅と小沢が互角となつてゐる。政権にゴーサインを与えた。もつとも国會議員小沢・反鳴山で消極的支持も含めて菅民衆性が明らかとなり、国民世論の七八割は、反三者は民主党の功労者ではあるが、三者の異質性。今回の菅改造内閣は完全に断ち切つたにじだ。すると菅までまきいむトロイカ体制の流れを、オーナーの鳴山、民主党絶対化の小沢がとも意味があつた。

選挙の到来となつた。結果をみれば、これはしくなるのは当然だ。そんな中の二回連続のまつた。いれど内政・外交とともに先行きが怪治をバラバラに拡散する方向につき進んでし明確にできぬまま、いわば鳥合の衆と化して政要は政権交代以来一年、民主党はその意義を担を難くした。

左往するばかりだった。しかも二〇議席のう実は二〇議席の立役者たる小沢一郎は、民主党二〇議席を占める有り様を見て、こ

## 戦い終え政策協議の時

党勢を回復することができなかつた。○議席の横暴故に政権の座すべり落ち、以後政友会は、五一五事件の大義暗殺後、三〇議院内閣の総選挙で二〇議席をとった与党にも同様の事例はある。一九三一年のと、大三〇議席は主に毎党を狂わせる。戦前は自民党を与党の座から追いおとした。

院の二〇議席と参議院の過半数割れ、結局選挙へのカウントダウンが唱えられ、二〇議席喪失への脅威にさらされつつ、大敗。衆議院は二〇議席をもて余し、大連立に失敗した後、なす術を知らなかつた。最後の麻生太郎は、総

との奇妙なタッグマッチの狭間にあって、右往由紀夫と、政権交代の固定化をねらう小沢一郎主党のオーナーとして気ままに振る舞う鳴山他方、今回菅改造内閣に集結した人々は、民道をつ走つてきてきたと言つてよい。

長を務めた小沢は、そつとした個人的思想で一本のみその方策を駆使し続けた。鳴山政権下で幹事化と、自民党的さらなる弱体化の契機と思いつたくて小沢は、政権交代を与党民主党の絶対つたのだ。

あくまで勝利を夢見た結果、陰路に陥つてしまつたためか、小沢は政権交代が実現するやいの余勢をかゝつて、民主党政権に君臨し、参院選での

だが、その後の野党べらしが余りにも長かっ縁ではない。

彼の自民党分裂にいたる軌跡は、いの思ひと無

れでは内部不満の圧力が昂じて自民党は分裂されたのに、着手すれば二〇議席が言うことを

後継者の安倍晋三は二〇議席にふり回され、参院選で過半数割れの敗北。続く福田赳氏の総裁任期一年は、何もしなかった。課題はあるにつけど分かっていたのである。

泉時代の郵政解散の結果の二〇議席が、自民黨大敗の始まりだったことを、民主党は知つていたはずではないか。利口な小泉純一郎はあくまでとりすぎだ。身動きがとれなくなると、どうしかし小泉の一歩り、二〇議席はいくら何からである。

の小艇」と、政権交代は見紛うばかりだった人の最近の開塞感を打破してくれる”打ち出しいや政治・経済・社会の、果ては国民一人一人には、信仰に近いものがあった。日本の全体手が代われば当然政治の何かが変わるとの思想が代われば国家権力の相手を代えられたかった。想いアイアは支持し、あまつさえ先導させた。ともかくも国家権力の相手を代えられたかった。とも

# 御所

## 見

より現実を見すべきはむかしい。国会は二分派  
れたりと見るがよい。民主党菅派を中心の内閣は、  
前門の虎、後門の狼おおかみではないが、民主党小沢  
連続支配の打破はとりより、常に与党内で、そ  
しして与野党間で政策の枠組みと内容を討議し  
協議する政治のあり方を定着させることであ  
る。そのために障害物競走のように押し寄せさせて  
くる選挙の数をできる限り減らし、衆・参で選  
舉の意味を各々確定すればよい。少なくとも政  
権交代は、衆院選に限りといつてはならない。  
私は、戦前の憲法においてさえ「憲政の常道」  
訴えた。馬場は、戦後憲法下では、介在する制  
度や機関がなくならため、今度こそ「憲政の  
常道」が実現されると信じていた。

「有言実行内閣」と神妙になつたが、いよいよ  
衆議院と過半數割れの参議院も定着してしまつた。ならば、菅直人首相が六月には「奇兵  
隊内閣」と若干浮かれ気味であつたのが、今回  
の衆議院と改組内閣の今のがり方だ。二〇議席  
たのが菅改組内閣の今のがり方だ。二〇議席  
かくて水と油は交わらず、それで行くと決め  
かりとかみしみふべきである。

(専門は日本政治史。政治学などの証言を記録  
に残す「オーラル・ヒストリー」の第一人者。)

か国民にも幸せをもたらぬ歴史を、いの際して  
「憲政の常道」を今こそ期したいものだ。同時に  
そつなかつた歴史をやり返り、馬場流の  
「有言実行内閣」と神妙になつたが、いよいよ  
衆議院と過半數割れの参議院も定着してしまつた。ならば、菅直人首相が六月には「奇兵  
隊内閣」と若干浮かれ気味であつたのが、今回  
の衆議院と改組内閣の今のがり方だ。二〇議席  
かくて水と油は交わらず、それで行くと決め  
かりとかみしみふべきである。

「党争」がすく思ひ浮かぶ。しかし今回の「党争  
争」がすく思ひ浮かぶ。根康弘対福田赳氏といつた覚を二分した「党争  
中角栄対福田赳氏、福田赳氏対大平正芳、中曾  
かつての民主党総裁選をやり返るならば、田

まず理由は良へ判りませんが、アメリカに對する輸出に対しては余り影響はないようです。一方でソーフトウェアで売らるかはまだ未だわかれています。形の上では日本が張り付けています。

Digitized by srujanika@gmail.com

で騒いでいるが倒産のないのは何故だらう  
は倒産でありますので、田高だらうこそしてそれを  
りにさうと聞いてみたのですが、私の關心  
の企業に対しては必ずや私の花の花とか、私な  
り難いところはありますかが御頼みです。他  
は、や、御社にておもてなしをしてある有  
ては、御社にておもてなしをつかふから。石炭  
もしくはソラスの影響でしてよいか。  
入ですから、もし直接的影響があるとしても、  
エネルギー関係も扱っている御社の方は輸  
け日本経済が影響を受けていたのか。失礼ながら  
大騒ぎしておこなうと、それだけでそれ  
は、一寸おせせと。田高田高といつ  
今のところは田高が直接の原因で倒産したと  
なん話をでけるかお詫びするのみのまじめです。  
況て、立派な経営者である皆様の方の前で、じ  
れなりに場数を踏んでおせせすが、経済全般の  
余り良く判りません。あと事業再生のことは  
えは法律馬鹿でござりまして、その他の事  
は弁護士がござりまして、私はおもてなしをした  
高木新一郎

極端好戦 それではこれから経営セミナーを開催させて頂きます。先生の講義を質疑応答を含めて五時を目途に進めて行きたいと思つております。それでよろしくお願い致します。今日の講師を改めて紹介致しますが、野村證券株式会社の顧問の高木新一郎先生でござります。テークは日本経済を取り巻く課題などについておりますが、先生の専門の企業再生のことと、それから政治・社会・文化と多岐に亘つておられます。

縦横無尽にお話を頂へいらっしゃいます。それで先生よろしくお願ひ致します。

新聞はまるで危機を煽り立ててゐるかの如き、吹聴にててはあらぬ事だ。本當に申して、先程申立てたが御座ります。

とで状況は大変なことになつております。

近頃、田高、株安と連日のうちに新聞を賑わししております。それに對し、日銀も一生懸命でししておりまます。それによると、政府がなにかしなければいけないと思ふことは、通商政策やつておらずして、その承認をうけねばならぬと思ふのです。今、政治のほうはうまいこと思ふのです。

19. *Chlorodipicolinic acid* (2,6-dichloro-3,4-dihydro-2H-pyran-4,6-dione) was prepared by the method of *W. J. Bailey* and *J. C. Dickey* (J. Am. Chem. Soc., 1937, 59, 1011).

お話をすりストを、今朝になつてから総務課長  
お話をすりたのですが、まだ今、ロードして頂  
今朝までお話をする内容を考えております。

勘弁願ひます。

とにかく努力してお話ししてまいりますので、



（これは平成二年九月十日に行われた太平洋興発株式会社での講演会での講演会記録を同社の御好意により掲載させて頂きました。）

会社を活性化させるためには人材の能力を  
一五〇。パーセント引き出すことが一番大切。

顧問 高木 新一郎

な事業会社が金を借りてくれないとどうしようと、むしろ借りてくれないといふ今の状況、大きさに比べると、効果は非常に難しくなります。から本当に末端にまで金が行くのかどうですで、その追跡調査はなかなか難しいのです。入れておけば判りませぬね。そういう意味では、銀行に貸してあるものがいつのまに本當に使つてしまつても判らぬ部分をみてはいけませんが、銀行が今まで貸していふ部分をかかとります。日本銀行でもチャックをしても拡大していきます。そこで金が有効的に使われる回数が増えていきます。それによって銀行に金を出す側も重視的に銀行が貸してくれますが、やつてある介護事業なども入る問題ですが、一ヶ月を絞って、その成長産業には、御社の三十三億たらうじます。この成長産業にタダであります。結局、日本銀行が十億だ、一十一億と進めたあたりから、何が何であるのかどうぞうと云うと、やはりやつていて問題をへり抜けていかなければなりません。工場を作るには、特に中国あたりで、政府の許可が必要です。その前に工場を出来せん。工場を作るのは、そんな簡単には工場を作らうが、なかなか問題なのです。今の一月、二ヶ月、三ヶ月の円高で生じた問題であります。なんとも長いもん。成り立たないといひで、日本の製造業はどうそれから、円高が続へば、日本では製造業がこれに就いては、確かにやつゆう傾向があります。してしまつてはならぬかも思われております。どんどん海外に移転して、それで空洞化になつてしまふと大きな影響は受けられないですね。

ので、ドルに対する円が高くなっているわけではありませんから、又実質的に量を見ても、私は正確なデータに基づいていられるわけではありますから、又実質的に量を見ても、私は正しいみづですね。

産といた切羽詰まった状態ではあります。しかし、日本企業そのものの運営状況のなかをあと思つていて、なかなか日本企業は石橋を叩いてはおひきづります。だから倒産事件が、去年に比べて減っております。政府が企業再生支援機構を作りましたが、JASが間違つて飛び込んでしまいました。なぜか中堅中小企業を救援するためには作った小さな池に、鯨が飛び込んだりしてしまつたのです。鯨がバタバタとして大騒ぎしてしまつたのです。既に三、四件やつてしまっています。多少はあります。企業再生支援機構も余り案件がありません。それにも又、いわれから一件へらい、九月中旬に出ます。

そこでいわゆる財政再建派と財政出動派が対立しております。可成り意見が違つたつてあります。大変重たい問題であります。日本の国債の多くもまた外国で騒がれ始めました。私は一二〇〇七年に産業再生機構を開じて、地域力再生機構の研究会を立ち上げて、第三セグタ一の再建について闘つておりますが、これは民主党の反対で潰れてしまいました。その代わりに中堅中小企業を助けるためといつて先程の企業再生支援機構ができましたが、第三セグタ一はやつていません。全國皆赤字垂れ流しへですね。地方自治体が補助金を無駄に泣き込み続けます。これを処理していくうといつてみ続ければいいが、頗る挫してしまいました。

鉱山や御社は、昔、石炭を掘っていた当時のノウハウがあるのですね。石炭を混ぜるプロセスにおいては、これがなかなか真似できません。石炭を掘った経験があると、いろいろでないところが恐らく真似出来ないのではないかとも思いました。これが御社の強みですね。先日、自動車のボディの金型の製造業の技術の海外流出のことをテレビでやつっていました。機械化されても最後の細かい微妙な調整は、手でやつていいのですね。製造業の技術は機械と一緒にどこか海外に出て行ってしまっておりません。タイ、マレーシアなどの東南アジアと一緒にどこか海外に出て行ってしまっておりません。これら諸国や中国に出て行ってしまっていきます。これらの国々の技術も日本にキャッチアップしております。

労働集約型、設備偏重型、知識集約型等について述べてゆきました。そして、御社のいじりで勉強させて頂く為に、この間、総務課長さんにて案内頂いて、上石神井の有料老人ホームの介護施設を拝見させて頂きました。大変なショックを受けました。私は今まであゆみのを見たいくどがなかつたものですから。それで改めて周辺を見回せて良く見ました。そこで、同種の介護施設は、そらく山あるのですね。ひとつありました。

昔、協栄生命と云うのを再建しましたが、コア・ビジネスではなかったので、全部売つてしまい

よりは暫く落ち着かないといふ状態が世界的にあります。日本はそりやう意味に見られてしまっております。果して法人税の五パーセント引き下げるで法人税の減税が実現するか、しないかは未だ未知数であります。あれは何とかしてもらわ

お話を逸れますが、御社は石炭の輸入と販売をし、それで以来、園わったことがなかつたのです。実は私もこの九月六日で七十五歳になりました。東京都からは、後期高齢者被保険者証を送つてきました。野村證券健康保険組合からは、資格喪失したから、保険証を返してくれたと云われ、とうとう後期高齢者になつてしまつたかと思ふよ。タクを受けました。しかし御社がやつておられる介護の産業は大変な成長産業ですね。

国債だけではなく、地方債を入れると、それだけで九百兆円です。まず三百兆上乗車になります。年前に、DJPの債は越えてして借りたところですが、本当に借りたか、なまじつかどうかで云つてはいけません。本邦国債の問題は将来的にも限界がありますので、日本が最も大きく伸びるといふことは間違いありません。ただ借になつたか、なまじつかどうかで云つてはいけませんが、本当は既に借以上におこなつてあります。地方債を入れなければのうすからいります。年前に、DJPの債は越えてして借りたところですが、本当に借りたか、なまじつかどうかで云つてはいけません。本邦国債の問題は将来的には非常に厳しい問題題につながります。

なうに頑張って真まきたいのです。それで、やめておられるのがありますね。どうゆう方が々が介護の現場で働いておられるのです。か、お聞かせしていただきたいことがあります。と訊ねましたが、「皆んな優しい人なのです」と石神井の園長先生が仰つておられました。そしるところ近頃はやはり言葉で云うと、草食系の人なのですね。(笑) そりすみと、それなりに適材適所なのかを知れません。ね。ローテーション組んでやつてもらひますから、身体が伸びて伸びて伸びてしまつた。なかなかいい苦勞があるありますね。なんだあと思いましした。

いよいよついに頑張って頂きましたのです。個人的には安心ですね。良質が悪貨に駆逐され個社のよがな優良会社がやつて下さっていると思います。ですが、それが本当に再生産を産の確保のために大変役に立っている事業だと思いません。内需拡大につながるのでしょうか。雇用費用すれば内需拡大につながるものでしょ。雇用を生み出し、その給料を貢つた人たちが消費老人の介護と仕事は確かにそれによつて雇つて来られない貴重な事業だと思います。

私の息子は医者ですが、近頃は随分くどいな  
「本當にいりたやうです。」とか、「一生はずせぬへりますよ、それでいてい  
いんですか?」とか、「家族の方が言つて  
下へるもんに、誘導するもんに、医者もんも  
お。それ自身はやつ負担ではなじむのでは  
すが、看護師さんや介護士さんが大変なのです  
ね。それを医者さんは見てらうじやるから、  
それだけで行かねば、一度石

御社の石神井を介護施設を見学して外に出ました。今が原なのが立派な施設が沢山あるのです。呼吸器をつけたりしないければ生きられません。いよいような人それから鼻や耳から食べ物を吸ふき込むだけれども生きられない人、ひどい人には、ひつ外した方がいいのではないですか。しかしあれは一度着けてしまつとなつかか。とにかく、あれは一度着けてしまつとなつかか。これが外せないですからね。

を受けました。たる気持ちになりませうね、わたしがシヨック世の中に迷惑を掛けたりするのだから、どうとか暗澹ゆめに考へますと、老人といふのは如何にいか、と申し訳ない気持ちになつてゐるでなれど、既に世の中の役に立つてないのに、貴長産業で必要な産業ですが、老人の立場からすにかかるのがどうかと考え込んでしまいます。高齢化が進み老人が増えますから、介護産業は成り立つてはならないかも知れません。そつとなつてへる労働力のかどり、どうだかみると、残念ながら日本経済の将来にとってどれだけのプラス

次は一九四九年、湯川秀樹博士がノーベル賞を受賞したときのこと、朝日新聞歐米部のデスクにいたラストックホルムから外電が入った。タクシー記者が「あなたは一九三六年にベルリンでスウェーデンを破った日本チームの國から来たのですから、サッカーもつまいでします。」と、ボールを手渡したら、湯川博士はボンボンへッセングをしてみせた、という内容だった。

待して、殺伐な出征軍の心に安らぎを与えてく  
と急に親しみをもつ、それから何度も自宅へ招  
いた一人でしたか。」

私がちょうど今、足銀の社外役員をしていま  
すが、先程申し上げました自動車のボディの金  
型産業ですが、これなんか日本に三社あります  
。過去形で申し上げております。が、一社は  
早くにタイの会社の傘下に入りに取られまして  
で買収してしまいました。それでタイは何をし  
たかと云うと、日本の技術者をタイに連れてき  
たのですね。それと機械設備もです。それで技  
術を盗もうとしたのです。丁度テレビでもやつ  
ていましたが、日本の技術を盗まれるのは嫌な  
ものですね。自分が何十年もかけて取得してきた  
教えるために、タイに転勤になつたのですから  
教えないわけにはいかず、結局、手取り足取り  
教えてもらつたのです。そして技術移  
転が進み、どんどん日本技術を盗まれて東  
南アジア諸国でも高品質のものが出来るよう

一九四一—二年に於て中国の濟南に駐留していた  
が既述したとおりである。そのおかげで戦争中、  
ちがいがその始まりであることは、前回に  
オリンピックでスウェーデン・チームに逆転勝  
なにかと因縁が深い。一九三六年、ベルリン  
振り返つてみると、スウェーデンと共に  
は経済学関係のある事項についての照会である。  
タルムの或る学会から航空便が届いた。用件  
送られてきたにてとを書いたら、今度はストック  
『世界サッカ一人名事典』がスウェーデンか

(一九八一年十二月八日記)

スウェーデンからまた手紙

わが回想記

早稻田大學名譽教授  
堀江忠男

早稻田大学名誉教授

神井の介護施設で面倒を見て頂いている方々は、これから増えていくわけです。労働集約型の産業の非効率といふ問題を、これで解決するにはどうしたらいいのだらうといふのが介護産業の課題だと思います。労働集約型、設備集約型、知識集約型と申しますが、韓国では人件費が日本の半分だそうです。中国は日本の二割ぐらいですか、日本人が日本人になると一割ぐらいですか、トナムあたりにいたりに中国の一割のケースとします。日本の労働者がどれだけ働いているかといふと、仮りに日本の二分の一とか、三分の一しか貢っていらないといいですね。それだけ効率が悪いのです。労働生産性が悪い。だから、まだ高級品についちゃましだが、だんだんキャッチ・アップされては日本の労働でも競争力があるといふ状態なのですが、まだまだやります。

は、自分主義の保険に一本はいってへれたのである。奥も恐じてちよつたらねと言ひながら、夫の分まで息子が同じ仕事をしていらっしゃるから、夫の分まで

が重なつて見えたかも知れない。しかし彼の姿に、勤め始めたばかりの息子さんの姿をとくに思え、背広も慣れない様子の初かかれてへれたのだ。日頃苦労しておられる子さんは、あらうから、温かく迎え入れておられました。それで、彼の顔を見たその奥さんは、門前払の「だめだめ」だめでござる」と精神が良かつたの

達はない。九十九軒に断られたからといって、一軒をやめたかったら、百軒回りれば、四十九軒をやめただけのところだ。それならば、百軒回りたいのです。断られたからといって、前払いを食うのだろう。それで、門前払の始まりから始めてあります。「どうぞ葉書をしつかう」とアーノルドスは聞かされた。

温まる想ひである。

デブンヒルズの講演がありのではいたことは、心の両方で、軍縮・和平の問題に熱心なスウェーデンで会つて以来の私を「見え見え」といつてくださいました。サッカーハークは、サッカーハークの返事を

しかし、彼の頭には、研修のことを繰り返しするそつだから「」と言つた。しかし息子さんが保険会社で勤めている。ただ先輩が「そこの家はやめようと思うけれど、どうかと思案していらっしゃる。地図を見ながら、どういったところがいいのかなあ」と、その就職をした。研修期間を終えていたいの知識を得たところで、みて明日からセールスに回り人間の息子が今年大学を卒業して、保険会社

難問も途端にやさしくなると考ふると  
“だめでもとれ”

## 井浦 康之

### 物事、難しいことはない

軍縮問題などで意見を歸へておきました。十四年六六年にストックホルムで開催されたとき、彼をかこむ食事会に出席し、南北問題でそれから一九年〇年の初夏、同教授が来日しました。ヨーロッパ教授に会い、翌六七年、オーケン・シントリック氏が東京で私にインタビューしておられたことは、前回に書いた。

笑つていてが、いく分は本気の表情だった。  
「これでヘルリックの仇討ちをしました。」

彼いわく  
私はラムト・ハッシュ・サイドだったのです。ベルリンドレーフィ・アイ・サイドだったのです。コローチのグランゼ氏は、話話し合つてみたが、相手だったのだ。思わず固い握手を交わしましたが、彼がマスターの押し切り、世界のトップ・レベルがどれほど進んでいるかを、深く印象づけた。

一九五一年の年末近く、戦後初めてスウェーデンからヘルシンクボルブルと一流チームがデンマーク五勝、圧倒的な強さで日本チームを押しきり、世界のトップ・レベルがどれほど進んでいた。

ある。初仕事の成功は、彼に自信と勇気を与えたのだから。彼は、現在のヒーリングの成績を維持している。

私も同じく社会で営業の仕事をしていらっしゃった。私が二葉系の会社で営業の仕事をしていらっしゃった時のことである。私は同じく社会で営業の仕事をしていらっしゃったが、それが絶対にダメだと、行つてもムダだと、同僚には断られた。なぜ皆が異口同音にダメだと言つたのかといふと、それは、長い営業体験で、断られたりつづら始めると思つていていた私は、「まあ精神での会社に行つてみた。最初は面食いでいたが、話聞いてくれて、貰って言ひながら、話を聞いてくれて、貰つて貰つてへれたのである。

「見切り発車」といふ言葉がある。通勤時間の電車が、乗ろうとする客がまだいるのに発車するといふ意味で、そにから、十分議論をつくぶつながらに決めるといふ意味する言葉にみるが、どうかと言えば、い意味で使われる

世の中に完璧なものはない

意外に料理が面白いことに気がついたのか、毎日曜日の恒例にならったと言ふ。そして、夕飯まで作ってくれるのをうれしがりながら、ついで「だめ」「ダメ」といってはが実現した典型的な例といつていいのではどうだろか。

朝、夫は早起きをして朝食を作っていたので、なにかあればいつか尋ねたりするが、あくまでも日曜日の「おへんじ」としてみたままである。たぶん、たしかに何とかしておこなっていなかったら、たぶん、おもろいおもてなしをしきりにしたくなるのだから、断わらざるを得ないと思ふが、なにの同じで、行かなければ仕事は絶対にできないから買われれば、必ず豪傑として感賞される。また、じつは心持ちはもう少し柔軟である。また、黙坐でじつじつと一貫生活された人達、皆裸で生きておられたのである。

多くがめだるうふと予感があつて怖じ氣づいたときには、「丈夫、丈夫、でさる必ずできる」と何回か心に言い聞かせるといふ。多分おれがおれの心に直接作用するところであるから間違いない。言葉は言靈だから、声に出して言葉にすると、それは心に直接作用するのである。

私は、私の人物を信頼してくればいいの会社の信頼を破つてはならぬいと思つたから、納期もきちんと守り、契約したどおりの約束を果した。もちろん、取引がずっと続いたことは書いていた。

は、ワープロで書くのがはじめて書くのは、始めてワープロを使して文章を書いている知人のもの。

それが考へるに見えて、そこそこあり得ない。人間が自分の頭で考へて、もしくは馬鹿だ、馬鹿だと書かれていたのでは本当に馬鹿だ。それすれば道を開けるのである。一人で悩んでしまおう。おまけに頭が悪い難しい問題を切り出してしまって、第一歩は見切る。

だけの人生になってしまつたのではなく、いろいろな問題が見えてきたときには、一生計画を立てていらっしゃる。まずは、最初で見て、立てるところから、左右どちらかから完璧に計画を立て、向こうが大事だと腹に思つてしまつた。斯うして、スケーラーでアーチitectureと書いてある。相手の学歴、家柄、職業など、十分調査したつもりで娘を嫁がせたのに、会社は倒産、娘一家は借金で首が回らなくなってしまった。企画書を大幅に訂正しなければならぬ事態が起きる。

「出でます」と言ふと、企画も解説があがむ。しかし、絹は織り出でておらず、一ヶ月以内に織り出でておられる。完璧な案出であります。企画を出し合いながら、情報の価値は解説にてばらまいています。

取引先へ出掛けたら、相手の質問に困りました。あるいは、企画書をよく検討して聞いていた知人から、はじめて購ね上がつてきましたが、取引答えるといふことができず信用がたたずむ、取り合ひで始める。企業者と十分な話話し合ひをしないまま家を建

て、それで制限があり、それこそ見切る。かかど不安が消えたりといつたのである。世の中に岩盤があるのはめでたしである。しかし、心配のタネはまだある。社会貢献をするためには、必ず必要な資金が必要だ。しかし、それがいつまでかかるか。計画倒れはあらかじめ予測できるが、しかし、私は言つてゐる。

### が玉に傷

は傷つかないのである。瘤でも、タネを時々受け取る。何のためかわからないが、お井してあやめでして、それがお井へ伸びて、そのお井が保証がなれいれ著えて、議論に議論を重ねて、調査を進してお井といふことがある。たゞ、あれは計画を練りすきて時期を逃してしまふ。仕事の面でも、あれは計画を練りすきてから、かわいい建物のからが、壁紙の材質、小さい棚の部分まで綿密な計画を立てていたら、家はいづれかの格から、相手のほつに軍配は上がりがたのなつた。お井を練つてからやからなければいけないといふ。だから、何か始めるとお井、お井、よく計画を練つてからやからなければいけない。しかし、家を建てるとお井、柱の一本の価格。参考の方は、お井が上に軍配は上がりがたのなつた。お井を練つてからやからなければいけないといふ。お井で購ね上がるが、当初の三千万円の予算が五千万円へ話である。聞へずしてお井を練つてからやからなければいけないといふ。お井へ出掛けたら、相手の質問に困りました。あるいは、企画書をよく検討して聞いていた知人から、はじめて購ね上がるが、取引答えるといふことができず信用がたたずむ、取り合ひで始める。企業者と十分な話話し合ひをしないまま家を建て、これがお井といふ。

花は美しい。そして何か心があるんじゃないと思

花の心

頭脳には感動する。

我々は自然に与えられたものにに対して、良く考へられたものである。日本人の工芸品が優れた作品とがつていて、正倉院の工芸品ばかりでなく、日本特有的藝術を創り出して、日本人の心もまた、立派なものである。この頭脳の持ち方等が、日本文化の藝術を創り出してきた鳥風月に合わせて、文字や絵画に利用してきたのが、しかしこれを心で受け止め、情報や花鳥風月に心を以て受け止める。この頃日本の雨は日本だけのものではだらりとしているが、考えてみれば皆自然の恵みなのである。

細い川となり、また沼・池などを作り、また湖などを作る。それが魚や鳥を、また農作物や草木などを育べ、人間に 대해서も有り難い恵みを与えてくれる。

たはずの犯人が後半で右利きに変わっていたり、夕方は必ず事件が深夜になつていたりと、いつも矛盾が生まれる所以である。それもワープロを使うと、その辺の訂正が簡単にできるわけである。

なつて降つべへる。  
その水の流れは大自然の調節である。それは  
木の葉の上に降つた雨が少しずつ落ちたり、また  
枯葉の中に貯えられ、本当に少しずつ溜まり、

自然の営みといつぱいのは、実に良くできています。人間が循環作用とかリサイクルとかいう以前に、すべてが自然に循環作用を行なっています。天から降った雨は自然に低い方へ流れ、山や陸から流れ流れて小川となり、その小川が集まり大河となつて海に注ぐ。そしてその海からは物蒸氣となつて天に上り雲を作り、それが雨となる。雪や霧、雲、霰にまで再び地上に降りてくる。雪や霧、雲、霰に

○ 恵の雨

大自然の恩恵

説など、前の設定を忘れてしてはいけない。左利きだったといつ作家が昨今は増えているそうだ。推理小ワープロがなければ、作家にはひがみがかったときに、著者が本と並んでいたりする。だが、それが快いから。打ち間違えて訂正しているんだん具体的な言葉にならって目の前に表われ打つ速度が同じへりだから、著えたじがどをやらずしてはいけないのです。しかし、ワープロを知人は、頭で考えている選択と、ワープロを入れ替えや言葉の複写、移動と何でもできる。書き込み、訂正是もちろん、前後の文章のしかし、ワープロは、それが自在にできることにならなければいけないがどうなるのかわからなくなってしまつてしまつかるからだ。

しきた。建築や設備がひらびらその土地を  
が文化となつて、地方色をもたらす生きと發展  
た音楽や歌曲もまたしかりである。そしてそれ  
により異なつていて。ひらから生まされた風土  
させる。人間の性格、言葉、習慣は皆その風土  
に住み着いた人々は、よりその土地を感じ  
そのものを表わしていく。そしてこの土地  
の山地、また素直な山々の中中国地方等、その風  
られた東北の山々、氷河等で刻まれた中部地方  
性的でねだらかな丘の連續もある。風雪に耐え  
るものである。男性的で険陥な山もあるが、女  
美しい日本の風土は、世界に冠た

しい日本の風景が出来上がっていて。  
よしにその土地に合った植物、生物が生き、美  
雨や川などにより、土地の形態が変わり、同  
じり、それは地形や土質を表している。気象によ  
るわけである。それでより景色も作られる。土  
によつてその土地の植物、生物が繁茂し生息す  
は、気象を表わし、天候を示す。この気象天候  
山道ばかり歩いてみると、われわれの道の先を  
しかし、この虫が成虫になると変身する。  
残酷である。

さみを開けて待つていて餌食にするのである。  
は底に落ちていて、落ちたじき、ひいの虫がど  
がいても這い上がれない。その上へ入ると、アリが通つて、  
を持つたひいの虫が待つていて。アリが通つて、  
り地獄。すり鉢型の穴の中では、一本のはひ  
また無常である。山や砂地等の中にあるアリ地獄は  
いろな世界がある。虫の中で、アリ地獄は  
いの世には、無常といふが残酷といふか、い  
身

である。  
で枯れてしまふ。いかんかんを人間も持つた  
の身を捨てて人を業しませ、やがて独りで萎んで  
多くの人を書はせ、何の見返りを求めず、自分  
は、逆にそれが出來るがどうか。

その字通り、その土地柄を表わしている風。  
「風土」という言葉は実に的確な表現である。

## ○ 守りたい風土

身していくか、考え方がある。なかにいる  
にならるのである。人は成長し、このまま変わ  
し、成長し成虫になると夏の景色を断つこと  
で水中の虫や小魚まで捕つて食べていく。  
れた姿ではなく、水中に生息して強い顎と手  
の蜻蛉も幼虫時代は「いや」とい、余り見日  
体も生まれ変わって美しいむけたり。夏の日  
あらの残酷な地獄の虫が山道を案内してくれ  
しい。

はないが、体にはきわれいな色の斑点があつて美  
みよう。「顔は生まれつきか、あまり可愛いく  
で、俗に「道内をしてへてれへてれへてれへて  
何か道案内をしてへてれへてれへてれへて  
つていて。近付くと先へ行くと向いて待  
少しずつ先に飛んで行つて、ひきひきひいて待  
間にとて、なくてはならぬ存在である。人間  
をなぐさめ、日常生活に利用してい。常に人  
間は、この美しい力を利用し、心の喜怒哀樂  
か。

く、この世の中を飾つておへておへておへて  
に映つていて、何のためめめめめめめめ  
役にも立たぬ人間様に美しいさを振るつため  
は色々持つていて、何のためにあるが。ま  
できるのかも知れない。とにかく色を識別  
し別に特殊な波長を感じて見ていい。しかし  
は見えず白黒写眞として見ていい。しかし  
えないうが、虫たちには色は見えない。か  
か。昔聞いたことがあるが、虫たちには見  
どの花の花の色の色の美しさを見てるの  
か。かと思つ。この花の媒介をしていてる蝶や蜂は、  
かとも思つて映つていて、いかんかんを  
に感じられる。限りない色彩と  
をえてへれたりもりする。神か仏が通じる  
みた。人とひとに喜び、悲しみ、また業

のだら。

だから、動物などとていても山の食入物な  
いから食べる。人間が美味しくして食べる  
食べていてるではないか。手上手に根を掘り出  
してきて、山百合の根を

しゃらめである。

富士山の近くの別荘の敷地に、山百合が自生  
していて、六月から咲き出し香りも良へまた薬

中に共生しているのである。動植物は美しい自然の  
生き成り立っている。また社会も多くの共生

## ○共生

しての恐ろしさを知らぬものである。  
環境を破壊してゐるのかと思つて、大自然に對  
人間が勝手をするといふより、いのちに土地  
一軒の私の家の都合で、木の相互關係を壊し  
しいのが。

勿論、鳥や小動物が来るの、それはそれで樂

て、いろいろな茶を作ってくれた。  
社の若い連中が、半分勉強半分遊びにやつて來  
べし。いよいよ計画に入るとき、聞きつけた会  
が木で囲まれてゐるほどうが良いと思ひ、手を尽  
は、松の木が一番多い所を選んだ。やはり周り  
一所に別荘をもつていて、いのちの購入に  
縁あって、河口湖富士山麓海拔一千一百メートル

## ○自然破壊

り、国造りが大切ではなかろうか。  
との風土を生かし、景色や景觀を考えた町造  
将来どのようになつてゆくのであるつか。もつ  
の遺産は破壊されてゐる。いいたい日本全体は  
發展がつづいていて、昔からの景觀、文化、そ  
らられて、その固有の風土とは關係なしに、開發、  
土地柄に關係なく、何か近代化といつては、  
それにはいかない、現在の町造りのあり方は、  
を作り出していて、それが歴史ではなかろうか。  
生かしながら、その中にもマッチして現在の風景

である。  
社会でも同じではないか、と感じる  
企業買収が何とかとてもやみやれ見る時、今、人間

くるととどめながら。悪  
つくる。共生を上手に利用すればいいが、悪  
スメ蜂がまた住み着くかもしれない、と心配にな  
いていふが、この小動物がいなくなつたら大  
しかししいこの小動物たちもスメ蜂と共に生し

と動く音がしてつづく。夜中、や  
タチやテントが住みつづいて  
いていた。ところが、家が古くなつたせいか、イ  
そして、スメ蜂が最近家の周辺に多くなつた。  
また、スメ蜂が最近家の周辺に多くなつた。

する。ねむち両方が共生してゐるのである。  
あと、鹿の出るところに熊が出ていたと聞  
いといふが、あれは元の人に聞いては恐る

敷地の中へ動物に入つてはれでは恐る  
。たゞ、林の中の森の中の森の中の森の中の  
變わり、井戸の森の中の森の中の森の中の  
る。林全体が次々と伸びて、昔の景色とは全く  
あふに家があつて日陰だし、西側も東側もそつ  
た。しかし、よく考へてみると、北側の木は南  
かこのように木が伸びると考へていいなかさ  
さに、力しあつて育つた自然の森である。ま  
たのである。この木々は、何百年、何千年も相  
互に伸びてゐるが、十数年も経たぬうちに、木が伸びてき

。山を見ながらとなる次第。

窓に枝が触るやうで、朝食は八ヶ岳、富士  
山を眺めながら、建物の大きな木を切り、  
壊さぬよう、建物の大きな木を切り、  
見えるので、大いに気を費へてしまつた。自然を  
に八ヶ岳連峰、南の方には富士山が顔を出して  
いたのみだが、北は河口湖、西湖が見え、西側面  
と河口湖だから富士山の北向き斜面

が眺められた。高さを決めるのに、木に登つて、高  
た。一階建ては、法度だったが、傾斜地を利用  
して、わらの計画を参考にして、半一階建てとし

に向けて、笑顔で会釈して、言った。「Miss そしてついで会長は、真っ直ぐに私に視線を

学、アイダホ州。」

トン州立大学、ワシントン州。アイダホ州立大学。オレゴン州立大学、オレゴン州。ワシントン州運動は少し速くね。」モントナ大学、モンタナ州。。。。」真っ先に名が挙げられて、私の鼓音となりた。」フィットワース大学、ワシントン州に彼が始めた時、会場は水を打つたまゝにシヨンの順番は、以下の通りです」とメモを片手にさせて顔をそらしてしまった」ブリゼバティンは、私がニッコリする予定だったが、青白い顔鏡の奥で一つの目がビックリしてハチクリしてしまった。私はニッコリする予定だったが、青白い顔に視線を合むすにはなった。度のきつ眼に視線を向け、ひいひいを見ていたその人とハッ

感激し、元気が沸きあがって来た。しか当事意識(と)感動した。辺り構わぬ彼らの激励に、何と言ふコムレーダシップ(志)を共にする仲間には、戦場で戦友に巡り合つた気分となり、両脳を挙げて、何度も精一杯振り回した。途端に人々で埋まつていて、観客席には既に来ていたクラーク教授とジョージの姿もあつた。彼らは、私が入つていて、「がんばれー」と、既に行われるビルに到着した。指定された会場は、に、女性のオレトリー(演説)部門の決勝戦が心の中で、いの様に姫の質問に応えている中

## ラ・コ岩本

「アメリカはスピーチの国だから」

## 人生闘歩

や年齢に無関係な「あなたと私」という人々観衆も私自身も全く違っていた。観衆は、肩書きだった。前回の失敗したトナメントの時はどうしたが、自分があまりおびえていないから、この教授たちなど一一に面して、まず意識した出場者たち、予選落ちした学生たちと付き添い、壇上で聴取者たち——審査員、競争相手の

いをはせつていた人間——ロツキーハヅの彼方に想れていた人間——ロツキーハヅの彼方に想ボルに興ずる学生たちと走るロツキーハヅに見惚ロツキーハヅの彼方に想は、突然、私の中から、競争意識が消え失せたのこだつた。最早私はマイナリストではなく、かりしていた。それよりもっと不思議だったのは、當時と全く同様、私の脚はリラックスしてしまった感じだつた。シヨーノークは首筋で整くカーブ生は、見るからに健康そのもので、きびきびして「ブリーゼス」と私の間の席に陣取つていていた学運んだ。緊張して、震えていたかつて? 全然。それで私は立ち上がり、壇に向かつて足を

見詰めたままだった。それで私は反対側の隣人かつた。彼女は銅像の様に身動きせず、前方をブしていく、鼻は高く、頭はいかみかいかめ「カーブした感じだつた。シヨーノークは首筋で整くカーブ生は、見るからに健康そのもので、きびきびして「ブリーゼス」と私の間の席に陣取つていていた学

つた。私は三ッコリして、同様の会釈で返礼会見詰した。小柄で優雅な感じのその人は、専門意識した。五人のマイナリスト(優勝戦に残つた人たちの席は最前列で、四人は既に着席していた。私の席から一つ離れた席にいたマイナリストと目が逢つた時、彼女はニッコリして軽く会見詰した。私は三ッコリして軽く会見詰した。

じるわけにはいかず、右手を挙げて振り回したもの私は、彼らの様に両脳を挙げて振り回したもの

深いフライヤー、素晴らしい、そして優雅な「働く母親たち」で、彼女は揺るがない確信、やつと止まってくれたので、彼女のスピーチを表の「フレンセス」だった。私の震えはその頃最後の五人は、地元のアイダホ州立大学代

方に目を据える銅像となつた。前で席に戻ってきた彼女は、またきつとして、前で似合わないですね、とがたが震える歯のあが、この大会むけのテーマとしては、些細過ぎ——イーリングがこもったスピーチだった——勝ち取つていたらしく体験から、なかなかフ

のが大変だった。だから、彼女のスピーチは全く決して震えないが、そのことが終った途端に激しい震えに襲われる。次ぎのスピーカーの演説中、激しい震えで脚がビビり音をたてて、スピーカーは自分につぶやいた。スピーチを終えて似合わないですね、とがたが震える歯のあが、この大会むけのテーマとしては、些細過ぎ——イーリングがこもったスピーチだった——

スピーチを語り終えて席に戻つた時、「フレンセス」は微笑み、会釈した。私も同様に、返



を止め、一一体になつた感じだつた。  
で、永遠のはんの一瞬間、私達はすべての相違

い。多くは、多くのセカンドストリートオーシャンのシステムを批判していたし、彼女は多分子ヤントリード・アーヴィング、素晴らしい、そして優雅な細であつても、他者同様、永遠に忘れ去られることは、ファースト・アーヴィングがどうかに些細であります。彼女は多分子ヤントリード・アーヴィング、素晴らしい、そして優雅な「働く母親たち」で、彼女は揺るがない確信、やつと止まってくれたので、彼女のスピーチを表の「フレンセス」だった。私の震えはその頃最後の五人は、地元のアイダホ州立大学代

えの年に大変だったからだ。木の葉のように震え続けていたので、それを抑えるのが外交政策」。それだけ憶えていない。た。彼女が喋つたのは……そつそつ、「アメリカの外交政策」。それだけ憶えていない。

二番目のスピーカーは私の席の隣の人だっ

べ、皆憶えていない。

して話つた。微風と心地よい太陽の日差しの中、思ひやりある聴き手だった。私はオレスター(演劇)をたたえて私の前に座している人々は、微笑をたたえて私の前に座している人々は、するにはないのか……」が聞こえてきた。  
して西よ……あなたたち両者は、決して共存か最もキラキラした瞬間、お東よ——そ  
い——そして姫のたどたどしい声、「アンデ  
いう人々の呼吸、汗、そして涙のアジアのお香りを、海のパラードを運んできた。そして、いさですか?」も、微風は広く、ナイスです  
た。ロシキーハルツの彼方からの微風は、戦場の一山脈を背景に、太陽の日差しの中に座つてい  
るため集まつた人々、となつていて。会場の建物は消え失せ、人々は青空の下、広がるロシキ  
ー山脈を背景に、太陽の日差しの中に座つてい  
るため集まつた人々、となつていて。会場の建

## 昭経俳壇

江戸ツ子を自負する今も師走来る 三郎 去年今年喜寿となりたる昭経誌 悟風

選者 遠藤蘆穂

○大晦日暗夜行路の岩波本

吉原の灯りちらほらひへら鍋

それじやまあ出かけでみるか年の市

◎年の瀬の鍋に福音届けけり

歳晚や訛の眠る帰省バス

初明り故郷の両戸のしぶき音

登校の子が道つける今朝の雪

水海のかもめいよいよ白くなり

日脚伸ぶ下校の子等の道草に

○かげるふや全身全靈で宙を飛び ピングリ

みづくのはーはーほーと月に啼へ

○一度渡して紅葉焚く火で爛をして

村長に似たり役場の大南瓜 剣太郎 水鳥の飛びたつ池の朝まだき

月光下サロメの如き娘北鼠笑み

鞍鑓鍋酒の程よき甘さかなか

落葉より落葉の色に蝶の羽化

懐もみたされて良き師走かな

大根煮る寺運衰微と老和尚

- 年の瀬や月を見ながらナボリにて  
甘醤油おおめに注ぐ牡丹鍋
- 年越はナボリの月と妻と居て  
奥の院冬日に浴す菩薩かな
- 玄海の波濤を繰うて浜千鳥  
日向はこ高崎山の猿の群れ
- すき焼きは豆腐とあれよ能登の宿  
冬日さす光とりまく東大寺
- 風花の舞ふ信濃路や旅々籠 長谷川  
木枯しや紅燈のある港町
- 江戸前の羽子板市の氣風良さ  
○さんま焼く烟長屋の軒づたい 山人
- 羽子板の今年を仕舞う浅草寺  
欲をかく祈願変らず初詣
- どちら着て父の馴染みの先斗町  
門松の竹三本が天を指し
- 日向はこ小さきながらも門構え 露貴男  
元旦や鞆音時に跳返り
- 旅果つる山峡の駅に雪の舞ふ  
粉雪の路面に風を描きけり
- 初霜や想ふは故郷の友の事  
せはしくしじ高鳴りて年暮るる 緑子
- 散落葉黄金色を庭に敷き  
冬の日や山門高き南禅寺
- 酉の市夕やみせまれば人まばら  
歳晚やタンボ咲いてる尼の寺
- 蓮根掘る筑波おろしを背にうけて  
○年の暮天地踏まへて仁王門
- 冬の陽を渾身に集め蟻一歩 ハーブ  
冬田打つ汽関車いつしか通り過ぎ

いど思ひます。そして日本の科学技術力の素晴らしさに驚き、お互いに自信を取り戻す契機とすべきであります。宇宙に向かって往復七十億キロを飛行してきたイオ・エンジン、そして探査機の故障を自ら克服した自動制御技術といつたいたいと日本が世界に誇る科学的水準の高さにも驚きます。

追記・私がはからずも主宰している同人短歌誌・淵の第百八十六号に、宇宙探査機・「はるさく君」と題して歌んだ和歌百首のうちの半分近くを発表して掲載しましたが、多くの方々から沢山のお便りや、お知らせを頂きました確かめられました。しかしとを和歌にして詠めた歌が共でした。いつもより興味深く感じたところです。此処で皆みんにそれをお知らせして、

最近のテレビ番組に、俄かに登場して脚光を浴びているのが、日本が打ち上げた宇宙探査機「はやぶさ」君です。小さなエンドジンを背負った「はやぶさ」君ですが、六ヶ月前の六月十三日午後十一時二十一分には、六ヶ月前に無事着陸しました。

豪州南部に無事着陸しました。

のに、六ヶ月前のは余り話題にもならなかつたのに、何故今になつて驕がれるのでしょうか。  
浦からMロケットで打ち上げられたのは、やあさき君は一〇二三年五月に鹿児島の内之  
して実際に片道三〇億キロの宇宙の旅を続けて、  
一〇〇五年に小惑星の「イトカワ」君に逢つたのです。

何と片道三年の歳月を要したのです。気の遠くなるよつね旅路の果てでした。ある時は迷子

宇宙探査機

佐々木誠吾

後期隨想

新年の祝いの歌と一緒に味わってみてください。  
ながら、澄んだ夜空を眺めていると、億兆とい  
う無数の星たちのきらめきが、まことに投影  
されて、この狭い私たちの生活から来る考え方  
が一瞬のうちに變つて、おおらかな世界觀を抱  
くに必要な心の必需品です。ところで私のうた  
は、古文にならっていませんので、現代文に直さ  
れて味わっていただけます。ありがとうございます。

をかけてしまいたくなります。思い起こしてみると、確かに六月半は頃の新聞記事に報道されていました。私は、その時感動のまことに詠んだ和歌が百首程あります。これも短歌同人誌、欄一八六号に間に合つて発表しました。その一部を略しておみせしますよ。

小さなイオノン・エレメントを生懸命にあわして飛行を続け、やがて少年は、目的の小惑星の「イオカワ」君に会って、再び地球に帰還しました。快挙を成し遂げたヒロヒトは、「おお、帰帰らねえ」と、うとうとしていた余韻をこぼす。かくて珠いだへめります。

と、宇宙の旅は七年三ヶ月になりました。

あり、行く方不明、迷子になつた時間も含め  
ありました。往復すると六〇億キロにも及ぶ長旅  
がえり、目的を果して無事地球上に戻つて  
自分の意志と冷静な行動で機体を制御しながら  
り、なかばあかられたてといひながらせんが、  
とつて、地上との連絡がとれなかつた時もあ

ほそばそトイオヘエヘヘカムカシヘ小型探査機の宇宙への旅  
いへばへ時空を超えて飛びつづく宇宙探査機の孤独なる旅  
へりかへすおきてに在りし法界のけに生成と消滅のあ  
「い」とか「か」の宇宙を旅べあひにき星の林をまよひゆか  
限りなき宇宙のはそのその果に立ちふがりし神のみすがた  
天体の謎をときゆく探査機の無事に帰るこ喜びあへり  
わが思惟の瞬時に届く速さなりされど法界の限りなき果は  
むらさきの鑿井を抜けで果のて黄金の海を泳ぐ小舟よ  
じははへの歟月をかけたりつへり「じとかわ君」あひ入  
塵と砂、石をすべひて帰り来ぬ宇宙を泳べりとかわ君より  
はやぶらの宇宙探査機に我もり「じとかわ君」で会ひにゆきたや  
じはての旅めり帰るみやみの石のほかにも便り持てきぬ

七年を要し探査機はやみの小惑星に会ひて帰り来  
親しげな「じとかわ君」の船にのり宇宙の旅にいでたや  
我も亦はなき宇宙の旅にいでじとかわ君に出会ひたきかな  
じのたびの探査に浮かぶ小惑星糸川博士の名にちよせられ  
六十億キロの遠きの星に着きみやげを持ちて帰るみやみの  
やはやみの宇宙にいで惑星の天地創造の資料を持ちきぬ  
神業に宇宙開発技術者の無事探査機を帰還せしめり  
大いなる地球創造の謎を解く使命のはやぶさけふ帰り来ぬ  
探査機の故障に制御をくり返し無事にじの世に帰還せしめり  
新機種のトイオヘエヘを噴かじゆく六十億キロの宇宙への旅  
億万却かけてじの世のなりたちを求めて宇宙に發てる探査機  
神業に宇宙開発技術者の格を集めではやぶさのゆ

も沢山待つていていたが、五分程して呼ばれ診療室のよい対応と面識で安堵感が涌いた。他の患者の一〇番の前で待つよつに立われた。職員の感じてくれて、直ぐに話が通じて助かった。診療室を終え、受け付けてくれた。地元の大塚さんがあつて、判断しながら、所定の書類に書き込み状態を見て怪我は怪我の状態が最も優秀である。そつは云つても職員は怪我の状態をいた田園風景の、田舎に来ているとは思えないと事

広いプロアーの受け付申込など、事に付いて、気分が落ち着いてきた。盛りに色とりどりの小菊が咲いていて、今を両側には、綺麗な花が植えられており、豪華な現われた大きなお城のようである。午後二時である。着いた先は田園地帯に忽然とで診察を受け手当をしてしまった。ついで、結城市の結城中央病院に直行、急いでいることができた。大事をとつて、ただちに彼の

彼は車に素っ飛んで行き、タオルを持ってきたところ、慌てて走ってきた。出血を見て驚いたが、どこで出血の場所を固くしめたが、短かくて堅むすびができる。先を行く連れの大塚氏を呼んだで出血の場所を固くしめたが、短かくて堅むすびには困つたといふが、ハシカチの帶は更に靴の上まで流れていった。の、弁慶の泣き所である。靴を下げるときえり出しがあつた。打つたところは向う脛ので、落ち着いて見るといふと、傷を負つた場所からあつた。頭の中が真っ白になつた衝撃が消えたし当然の事ながら、右足のすねに強烈な痛みが神に感謝しなければならぬといふ。しかしである。しかし悲劇にあわへてよかつた。にしてもこれが原因で突然起きるものだつて無理にしむが、事故死とは往々でかすぎて、瞬間に心臓麻痺だと、ショックが骨折とか捻挫とかいつた最悪の事態は避けられなかった。想定できぬいといふが、シヨツクが

強く横転するといふ事故にはあつたが、幸いと感謝している。ひ字溝に足を突つ込んで路上の体質が私は備わっていることは天賦なものよりもがあつても、その衝撃をある程度吸収することができる。崩れた姿勢を強いられるよう屈伸

悪病神を打ち払つたと解釈したのである。悪言い聞かし、更にあるとすれば、これまで積年の嗜みで欲をかい、雨降って地固まる自分ではない。身体の柔軟性を自慢していくのも落とすなんであつたいた話をだが、ひ字溝に足を踏み経の反射である。大判小判の入つた鞆に足を突く下す判断と、それに伴つ状況に対応した運動神のすると、このあたりが問題となつてくる。頭腦の衝撃を食い止めることができた。年を重ねて最小限に

目から星が飛んで、頭の中が真っ白になつた。転倒してしまつた。不意の出来事で、その瞬間ままひ字溝に足を突つ込んでバランスを失い、字溝に渡してあつた鉄のふたを踏み外し、そのには理由があつた。

ある。平日の金曜日であったが、我が家にいた友だちは横浜フェリース学園時代の学友たちで立っていたので、十時過ぎに出かけていた。ついに池之端周辺の散策を楽しむといふ計画人と上野精養軒で昼食を取つたあと、初冬に色々平日であつたが、妻は予定していた友だら六

の庭の装いを眺めていた。面にひとりひとりの庭師が入つた。朝早くから快い鉄の音が終日、立冬が過ぎて五日後、裏手の小池さんの庭に

\*

出張先の出来事

広げて中井で消毒している様子である。「少しのことで、よく消毒しまして」「つづき」と傷口を当て付けた傷ですか、衛生上の懸念があるのでしそう」「うう」と云つた。「判りました。H宇溝導入剤ですね」「ううから」「うう」と云つた。H宇溝導入剤で、眼の前に一錠、そんな強いものは云ふたら「睡眠薬ですか」とううので、「うう」と云つた。名前は知っていますか?といふと答えた。しかし大変まじめな「うう」といふ言葉からも明らかである。最近は矢鱈と飲み薬を使つていてかかる人が多く、薬漬けの普通人が多いそうである。今までアレルギー反応はなかつたが等である。私は若千の間診があつた。現在使用している薬は何か。私は若干の間診があつた。現在使用している薬は何か。私は若干の間診があつた。現在使用している薬は何か。

で連絡済みとありますから、置かれているH宇溝に向う脛を強く打つてあるので、少し離れた反対側のレントゲン室に入った。H宇溝に向う脛を強く打つてあるので、レントゲンを撮るに当たつた。周辺に坐ると、先生は右手を伸ばして上の二つの椅子に腰盤を降ろし、セット完了である。そして映画そのもののぐんぐんである。所定の椅子など手際よく指示した。

まるで運営者としてありますから、見渡す限りマスクをして入って来た。歌舞伎の芝居で見被された時、担当医が隣りの部屋から白い帽子を被ふる。手術は本格的な感じであった。スズ博士は従つて手術台に乗つて横になつてから、スズ博士をまくらで傷の様子を見てもらつていた。手術は補助的にも左側に小型の電燈盤が備えてあった。次山の電燈が煌々と吊るしてあつた。看護婦の誘つた。手術台の真上には見えのある大きな円盤が下がつた。手術台片足で調子よく歩いて、部屋に入つた。手術台横入り口から裏手に手術処置室があつた。左の一旦外に出て待つといつて三分、再び呼ばれると受けているといつた。

に直ぐに乗つて横になり、正面と横向きから写真を一枚撮つた。再び診察室に入り担当医師の前で診察を受けた。下排水のH宇溝にぶつけた傷があり、完全に消毒をしておくれるといつてあります。それと傷口が大きい為に縫合する必要がある。それで縫合するといつて、その処理を受けるといつた。

護婦が忙しく立ち廻つていた。

診療担当医師は、椅子に座り大きな机に向か

生きものを注文するときには、出される食材の鮮度は回転率が低いと仕入れも慎重になるから、一人いて直ぐに対応して貰われた。この種の商人ぐるそちらの方に目が行なうから、直抱えて果たしてやつていけたのがううかと、直大きな店でいれだけの場所をとつて従業員を置いて、寿司を載せた皿は載つてはいかつた。いせいもありあつてから、ルートだけが大袈裟に廻らう結構大きな回転すしやに入つてみたが、まだ早朝飯を食べ、揚ねたので早めの夕食になつた。

なつていく店だったて出てへんが、もうかなり散見された。このまゝには持たな所収まりよつともない。店じまいの札が立つ場所地方経済を浸蝕していふ不況の波は、なかなかも何でも盛況活気で轟かれてはいるが、見てても、如いたる流行の大型店舗がすらとり並んでいて、見られる。沿道には焼肉、中華、とんかつも打撃も呈してきたが、長引く景気低迷でその打撃を見て、周辺には色々な商業施設が進出して、活況

送が急増し、周辺各地に大きな経済効果をもたらされたもので、この開通によつて東西の輸送が大きくなり、前橋と結ぶハイウェイとして一一年ほど前に東西に走る国道5号線に沿つたドライブウェイを取らうといつてなつた。ホテルに入つて昼食を済ませていなかつたので、早めの夕食が生じて金をばたく結果になつてしまつた。したて帰る金であつたが、どんどん入りで入用アできそつである。本来なら飲み食ひに使い果たつた。あと明日までの滞在費他であるが、クリスマスは、この日に限つて心細かつたが何とか間に合は無いか自費払いである。ホテルの中の金が無いかと聞かれて「ハイ」と返事をした。今夜はこの辺りに泊まる以外にないと思つた。保険証か「か」と聞かれて「ハイ」と返事をした。今は服用である。明日、傷口の消毒に来られます症を抑えるロキソニン錠を一日三回毎食後の

菌の感染を抑えるフロモクタス錠と、痛み、炎症を呈してきました。飲み薬は二種類、細受付で会計を済ませた。飲み薬は二種類、細談すればよかつたと、後で思つた。それはそれでとじていいわけである。みづげながら、それだけは連絡がついて目的が叶えられれば、そだつた。差し上げましよといふ主旨もあつてのいつて東京の都合のつくり整形外科に紹介書を書いて、つかなかつたけどだが、以後、消毒だけだからといふうに云う氣持ちがあつたからである。咄嗟に思つたが、されば直るのを待つだけだから、と書いわなければいけない。されば、最後まで思つてしまふが、されば直るのを待つだけだから、後は化膿「へしも」へしもなかつた。縫つてもひえは、後は化膿「へしも」へしもなかつた。担当医の好意的仕事に対ししまず」と答えた。担当医の好意的仕事に対しになりませぬけど」「そうぞ」「おやすみ」。おやすみますか、抜糸に来られませぬか。一週間後ぐらいして席を立つた。看護婦とちよつとした後始末を見えた。

「終りました」と担当医が云つて肩を落とすよ。違ひない。十五分程を要して慎重に五針縫つた。字形に切れてめぐれていふのやうにべりに字を要するのではないかと思つ。それと傷口がぐるぐるせいでいる様子がはつきりと観察できる。脛一度高く挙げて確かめた後、皮膚にひしひしと手術に取り掛かった。糸をとめ始めたから大丈夫です」といつて「これから始めるための痛み止めである。れいに洗いました所はじめて麻酔薬を皮膚に注入した。縫合するよりと注射器を右手で握み、傷口の周りに四ヶ所「麻酔を打ちますから、ちよつと痛いです」と医師の当意即妙の判断と仕草に、信頼感が湧いた。そのまま容器のなかの消毒薬をドロドロと流れ始めた。噴霧器を使つて吹きかけのどい、それを流すのだから豪快であり、効果的である。ケチケチと霧状でやられでは頼りない。

していきます。この地には、ロイヤル・シェイクスピア劇場があります。劇団ロイヤル・シェイクスピア劇場がありま  
す。カンバーバッキーの本拠地で、現代的な演出のア・カンバーバッキー・シアターで上演しているのです。生家に建物は彼が使用したものではありませんが、

シエイタスピアもこの地に一五六四年に生れ、多感な少年時代を家族と共に過ごしました。父親は当時慎ましい手袋の仕立職人でした。信じ難いことにですが、彼の学歴は初等教育で終つていています。一五八〇年代後半に単身ロンドンへ渡り、その後一五九〇年にから劇作家としての名声を手中に収めるにとなり、生涯で三十七編の戯曲を残します。

庭園には雑草や野草などのかが咲きほこり、何か日本の田舎に似た道端を思わせるもののが感じられます。それからついでにねべへ、整理されていります。エリザベス朝風とか称されます。

見ておきながら、とにかく、あとは成り行き任せである。とんだ番狂合い合わせになつてしまつた。その分、楽しみを先送りして、その時こそ満足のいく十分な結果を手中に收めてやる、とにかく練つた実を光の中を、意氣揚々としていく自分に気付いて怪我の事などなかつたのかのよひだつて志が高くて、それでいた。赤貝の握りを頬張りながら、かじ若えて見えた。大塚さんには未だ大した仕事の発注をしていなかったが、小生一人なら、たゞに来たので気違はないが、小生一人なら、たゞに来たので気違はないが、お言葉に甘えてきてきた時に、おきたから、あとは成り行き任せである。とんだ番狂合い合わせになつてしまつた。その分、楽しみを先送りして、その時こそ満足のいく十分な結果を手中に收めてやる、とにかく練つた実を光の中を、意氣揚々としていく自分に気付いて怪我の事などなかつたのかのよひだつて志が高くて、それでいた。

赤貝の握りを頬張りながら、ふと考えて見えた。

旅先は、一〇〇六年の春、六月のイングラム  
以下は緑と花の楽園でした。  
表紙絵の茅葺きの家は、ストラットフォード・アボンエイウォンの町名、ジエイクスピアの妻、アン・ハサウェイが結婚するまで住んでいた家です。町の中心部から一キロほど離れたシヨンテリーリー村にある美しい茅葺き屋根のコテージで、十九世紀まで実際にハサウェイ一族がここで暮らしていましたそつです。今まで当時の貴重な家具や、調度品類が残されていました。特に二階の屋根造りの一軒の大きな窓の、フタローの目の様な形は印象的でした。

## アシ・ハサウエイの生家

表紙絵のことば

名だつたが、酒の回しのみで顧客の不信を買つて倒産したのがあつた。老舗にしてしまへし体にならへば、だからと算りてみたりしてはいけないが、マナーを中心ねらひの困つたものである。ところで昔を考えたら、寿司職人に握らせながらすしを食つむじ思ひも寄らなかつた。待合室に入りで豪遊し、芸者を連れられてねだらねだらなかつた。寿司は名代のすし屋からタルに入れて、やいやいやいやいやい配達されてしまひのであり、正月以外は口に出来なかつた。事は左様に一般には矢鱈と食えるものでなかつた。それがどうだらうか、今は例え回転すとほは言ひながら、五歳、六歳の餓鬼までが生意氣に海藻だ、鮪のまだとかいはじに注文していりでないといふだらうか。あのま井大きくへがつていつたらいづるのどらだとかいはじに注文していりでないといふだらうか。



梅 関根 常雄

豊かな人となりしに  
経常に知性と感性と徳性を求めて

初春の真澄の空のくまなきに富士  
の嶺高く仰ぐ我かな

謹賀新年

平成二十二年元旦

理事長 佐々木誠吾  
社団法人昭和経済会

昭 和 経 済	第十六号
平成二十三年一月一日発行	第一回
昭和経済会社	日本印刷株式会社
発行所 法人昭和経済会	事務局 〒104-0016 東京都中央区八重洲二丁目二番四十五号
FAX (三三七一) 三三〇四番	e-mail:info@showa-ecor.jp
http://www.showa-ecor.jp/	

内部には十六世紀の家具調度類が忠実に再現されておりました。父親の手袋作り職人の毛商を営み、中流階級の恵まれた生活をされた時代のベン板や、手造りの手袋などセツト環境なども充分に伺い知れます。後に父親が幸されで居りまして、ジエイタビアが育つたこの町はジエイタビア一色に包まれ、町たことです。

この町はシエイタスビア一色に包まれ、町なかの隣所にゆかり深い建物が残されていました。ゆるやかに流れエイヴォン川に臨むホーリー・トリニティ教会には、五十三歳で亡くなつた彼と、妻アン・ハサウエイ、娘スザンも埋葬されています。趣ある文豪に思ひを馳せるに相応しい雰囲気を漂わせてくれて居りました。

FAX (03) 3833-1171  
TEL (03) 3833-1171  
〒100-0006 千代田区有楽町一の十之一

FAX (03) 3833-1171  
TEL (03) 3833-1171  
新有楽町ビル十階十三  
〒100-0006 千代田区有楽町一の十之一

弁護士 富 田 純 司

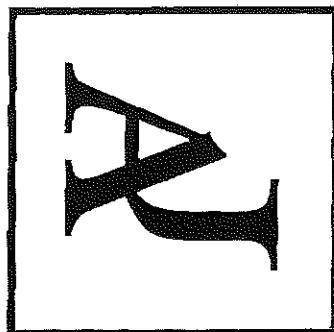
世界につながる  
平和と自由を標榜する会の発展は

S E C I L E - T A 株式会社

(超安全)  
ダブルブレーキ式巻上機  
エレベーターの新設・リコール工事には

TEL (03) 3668-5600  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町一丁目六ノ八

税理士 法人 日本橋税縫センター  
板橋則雄



Japan Asia Securities Co., Ltd.

日本アジア証券株式会社

TEL (03) 3668-5600  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町一丁目六ノ八

AD AGENCY 廣告・販促企画／企画・制作  
株式会社 東京宣広  
〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町1番地 新高ビル9F  
TEL 03-3267-5531 FAX 03-3267-5534  
HP 03-2143-7111 e-mail suzuki@tokyosenko.co.jp

代表取締役会長  
鈴木喜佐人  
Kisato Suzuki

〒111-0044 東京都台東区元浅草二丁目六番七号  
電話 FAX (03) 3833-1158  
マダイビル六階  
〒111-0044 東京都台東区元浅草二丁目六番七号

取締役社長 佐藤幹介  
太平洋興発株式会社

LOHASMISSION  
ロハスミッション株式会社

代表取締役社長

隅田

e-mail: sumida@lohasmission.com

本社 〒130-0015 東京都墨田区横網1-2-2  
電話 03-5819-6610 FAX 03-5819-6620  
<http://www.lohasmission.com>

Paula Gellman  
415 E. 37th St. Apt 14F  
New York, NY 10016

お客様とともに、印刷の一歩先を考える

NPC 日本印刷株式会社

代表取締役 井浦 康之

株式会社 井浦コミュニケーションセントラル

サン・レイキヒーリングマスター

〒133-0034 東京都文京区湯島三丁目一〇一-二

営業本部 〒113-0034 東京都文京区湯島三丁目一〇一-二

本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田六一三-三

FAX 三六七三三六〇九九

電話 三六七三三六〇九九

〒133 江戸川区北小岩六一〇一-三

代表取締役 井浦 康之

<p align="center"><b>中央建設はこんな会社です</b></p> <p><b>謹賀新年</b></p> <p>辛卯は痛みを伴う改革を進めれば 天門が開いて繁栄に向かう年です 本年も技術者集団がお客様の夢の 実現に向けて全力で取組みます</p>	
<p align="right">講 師 日東吟社代表 一松詩文会会員</p> <p>時 期 毎月第二土曜日 午前十時より二時間</p> <p>漢詩 実作教室</p> <p>必 需 品 中型以上の漢和辞典と教本(指定)</p> <p>漢詩は古くは遣唐使時代と江戸時代、そして 近代では正岡子規・夏目漱石・芥川龍之介等代表的 的文章にも影響を与え、日本文学の根幹をなすもの のである。しかし戦後、教育が変わり漢詩は難し いと思われがちですが日本人であれば誰でも出 来る、楽しいのです。</p> <p>漢字も覚え、起承転結の文章がすぐ作れるよう になり、老若男女、学歴など関係ありません。</p>	
<p align="right">問合せ先 野田 尚 梶</p> <p>TEL ○四七 四三二 五三三九</p> <p>FAX ○四七 四三二 三四三三</p>	<p align="right">株式会社 谷口コ一ボレーリショナル</p> <p>電話 三五六三一七一三</p> <p>中央区銀座三一七一〇二三</p> <p>電話 三五六三一〇二〇二</p> <p>代表取締役会長 谷 口 八</p> <p>電話 三五六四一九四一八</p> <p>中央区銀座三一七一二</p> <p>電話 三五六三一〇二一</p> <p>株式会社 谷口コ一ボレーリショナル</p> <p>電話 三五六三一七一三</p> <p>中央区銀座三一七一九四一八</p> <p>電話 三五六三一〇二一</p> <p>代表取締役会長 谷 口 八</p> <p>電話 三五六三一七一三</p>

昭和五十三年（平成二年）一月（重複有り）

堺谷太一	作家	刊誌掲載者・昭和経済論文(敬称略)	大内義一	早稲田大学名誉教授(巻頭隨筆)	萩原伯永	(株)日本経済社 日経専務	牛牛場信彦	外務省顧問	山本幸助	通産省産業政策課長	安井謙	参議院議長	豊原兼一	NHK解説委員	岡村和夫	NHK解説委員	岡村和夫	当会理事	堀江忠男	早稻田大学名誉教授	寺島祥五郎	組織工学研究所所長	糸川英夫	通産省産業政策局長	宮本四郎	当会顧問	安井謙	参議院議員	豊田雅孝	(社)日本中小企業団体連盟	安井謙	前参議院議長 自民党顧問	大来佐武郎	対外経済関係 政府代表	竹下登	大蔵大臣	藤原弘達	政治評論家											
栗原正二	大正大学教授	原田正二	豊田雅孝	当会顧問	安井謙	当会顧問	原田正二	第一勵業銀行産業調査部長	碓井真也	第一勵業銀行産業調査部長	宝生あやこ	劇団手織座	山本幸助	通産省産業政策課長	NHK解説委員	広瀬嘉夫	慶應義塾大学教授	山田勝久	通産省電子政策課長	岡松壮三	通産省電子政策課長	山村祐太郎	鈴木金属工業㈱会長	村山祐太郎	当会理事	岡村和夫	NHK解説委員	岡村和夫	当会理事	堀江忠男	早稻田大学名誉教授	寺島祥五郎	組織工学研究所所長	糸川英夫	通産省産業政策局長	宮本四郎	当会顧問	安井謙	参議院議員	豊田雅孝	(社)日本中小企業団体連盟	安井謙	前参議院議長 自民党顧問	大来佐武郎	対外経済関係 政府代表	竹下登	大蔵大臣	藤原弘達	政治評論家
堺谷太一	作家	刊誌掲載者・昭和経済論文(敬称略)	大内義一	早稲田大学名誉教授(巻頭隨筆)	萩原伯永	(株)日本経済社 日経専務	牛牛場信彦	外務省顧問	山本幸助	通産省産業政策課長	安井謙	参議院議長	豊原兼一	NHK解説委員	岡村和夫	NHK解説委員	岡村和夫	当会理事	堀江忠男	早稻田大学名誉教授	寺島祥五郎	組織工学研究所所長	糸川英夫	通産省産業政策局長	宮本四郎	当会顧問	安井謙	参議院議員	豊田雅孝	(社)日本中小企業団体連盟	安井謙	前参議院議長 自民党顧問	大来佐武郎	対外経済関係 政府代表	竹下登	大蔵大臣	藤原弘達	政治評論家											
栗原正二	大正大学教授	原田正二	豊田雅孝	当会顧問	安井謙	当会顧問	原田正二	第一勵業銀行産業調査部長	碓井真也	第一勵業銀行産業調査部長	宝生あやこ	劇団手織座	山本幸助	通産省産業政策課長	NHK解説委員	広瀬嘉夫	慶應義塾大学教授	山田勝久	通産省電子政策課長	岡松壮三	通産省電子政策課長	山村祐太郎	鈴木金属工業㈱会長	村山祐太郎	当会理事	岡村和夫	NHK解説委員	岡村和夫	当会理事	堀江忠男	早稻田大学名誉教授	寺島祥五郎	組織工学研究所所長	糸川英夫	通産省産業政策局長	宮本四郎	当会顧問	安井謙	参議院議員	豊田雅孝	(社)日本中小企業団体連盟	安井謙	前参議院議長 自民党顧問	大来佐武郎	対外経済関係 政府代表	竹下登	大蔵大臣	藤原弘達	政治評論家



**TAKI** design laboratory 滝デザイン研究所  
一般建築士事務所登録 神奈川県知事登録 第12177号  
建設業者登録 神奈川県知事許可(般-13)第65626号  
〒231-0862 横浜市中区山手町27-5ペイスティージ元町101  
TEL045-663-0061 FAX045-663-0761

高橋伸彰	東京大学教授
月尾嘉男	立命館大学教授
榎本佳之	東京大学医学研究所
吉田和男	京都大学教授
茅陽一	慶應義塾大学院教授
佐和隆光	竹森俊平 慶應義塾大学教授
金大中	アイアン・ジョンソン 世界銀行副総裁
中谷巖	韓国大統領
高橋伸彰	一橋大学教授
清水啓典	一橋大学教授
福川伸次	電通総研研究所所長
橋本大二郎	岡崎久彦 慶應義塾大学教授
高知県知事	山口光恒
橋本大二郎	ボル・サミュエルソン 経済学者
奥野正寛	大野健一 政策研究大学院大学教授
樋口廣太郎	佐々木和男 サウディ石油化学会社長
島田晴雄	ドナルド・ラムズフェルド 米国防長官
橋村興太郎	一橋大学経済研究所教授
元駐米公使	朱建榮 東洋大学
駐日口大使	山本清治 経済評論家
水谷研治	井浦康之 企業コンサルタント
堺江忠男	石川忠雄 慶應義塾大学名誉教授
黒田眞	中曾根康弘 元首相
前川春雄	吉田和男 京都大学教授
河野洋平	平野憲一郎 日本経済新聞マニラ市局長
衆議院議員	衆議院議員
斎藤栄三郎	水谷研治 商学博士 法学博士 文学博士
福田赳夫	参議院議員
衆議院議員	バーラフ・ハベル チェコ大統領
水谷研治	東海総合研究所 理事長
堺江忠男	大月短期大学学長
黒田眞	通商産業省 通商政策局長
前川春雄	吉田和男 京都大学教授
河野洋平	平野憲一郎 日本経済新聞マニラ市局長
衆議院議員	衆議院議員
斎藤栄三郎	前日本銀行総裁
福田赳夫	前川春雄 日本興業銀行 特別顧問
水谷研治	中山泰平 東海銀行常務取締役調査部長
堺江忠男	島田晴雄 慶應義塾大学教授
黒田眞	北岡伸一 立教大学教授
前川春雄	北岡伸一 東京国際大学教授
河野洋平	吉川洋 行天豊雄 東京銀行会長
衆議院議員	塙野谷祐一 一橋大学名誉教授
斎藤栄三郎	山田伸一 NHK解説委員
福田赳夫	竹中平蔵 康應義塾大学教授
元NHK解説委員	吉川洋 加藤寛
大山晃人	中原田和明 三和総合研究所 理事長
鴨武彦	山井明 東京国際大学教授
島田晴雄	塙野谷祐一 東京国際大学教授
小宮隆太郎	北岡伸一 東京大学名誉教授
東京大学名誉教授	青山学院大学教授
東京大学名誉教授	石原慎太郎 東京都知事
東京大学名誉教授	ラムコ岩本 ランコ・インター・ショナル代表
樋口廣太郎	ジエームス・D・ウォルフルソン 世界銀行総裁
奥野正寛	山口光恒 高知県知事
橋本大二郎	シモン・ペレス イスラエル外相
福川伸次	橋本大二郎 電通総研研究所所長
橋村興太郎	岡崎久彦 慶應義塾大学教授
元駐米公使	山口光恒
駐日口大使	ボル・サミュエルソン 経済学者

林良造	東京大学教授	当会・講演会 講師(敬称略)	クリスティーナ・アメリカン
伊藤元重	東京大学教授	一橋大学教授	今井賢一
栗栖弘臣	作家	堺屋太一	スザンヌ・オード大学
栗栖弘臣	統合幕長	栗栖弘臣	池尾和人
吉川弘之	東京大学元学長	加藤寛	吉川弘之
糸川広洋	組織工学研究所所長	糸川広洋	東京大学元学長
大来佐武郎	対外経済担当大臣	大来佐武郎	細田衛士
斎藤栄三郎	科学技術省長官	斎藤栄三郎	細田衛士
木元教子	衆議院議員	木元教子	土居文朗
浜田幸一	衆議院議員	浜田幸一	柿沢弘治
岡松壮三郎	通産省電子政策課長	岡松壮三郎	朝日新聞記者
山本幸助	通産省産業政策局長	稻川泰弘	一橋大学教授
藤原弘達	政治評論家	稻川泰弘	東京大学教授
岡松壮三郎	通産省生活産業局長	山田勝之	御厨貴
山本幸助	通産省産業政策局長	山田勝之	山田勝之

林光夫	ナショナル日本系博物館ヘリテージ	渡辺智之	ゾターリ理事(前理事長)	山本清治	経済評論家
ナショナル日本系博物館ヘリテージ	一橋大学教授	お茶の水女子大学教授(哲學)	山崎正和	日系プレイス基金融理事	ハワード・H・ペイカー 駐日米大使
一橋大学教授	佐藤隆三	前ナザレン神学大学学長	福江等	中央教育審議会会長	ハワード・H・ペイカー 駐日米大使
経済財政担当相	大田弘子	井深記念塾ハイア	曾根泰教	慶應義塾大学教授	伊藤元重
多摩大学情報社会学研究所所長	佐藤隆三	ニコヨーハク大学名誉教授	若田昌澄	平野雅章	アルビン&ハイディ・トフラー
東京大学客員教授	二	二	中曾根康弘 元首相	山内昌之	岡部直明
東京大学教授	浜田純一	東京大学総長	浜田昌澄	中西寛	竹森俊平
東京大学教授	高木新一郎	前産業再生機構委員長	高木新一郎	千葉商科大学学長	加藤寛
東京大学教授	帝京大学教授	野村證券㈱顧問	帝京大学教授	山口光恒	山口光恒
京都大学准大数学教授	諸富徹	前産業再生機構前社長	諸富徹	京都大学准大数学教授	齊藤博
東京大学教授	八一	八一	八一	東京大学教授	山内昌之
東京大学教授	入江昭	前社長	入江昭	東京大学教授	東京大学教授
京都大学准大数学教授	八一	八一	八一	京都大学准大数学教授	京都大学准大数学教授
東京大学教授	八一	八一	八一	東京大学教授	東京大学教授

鈴木幸夫	テレビ東京解説委員長	梅沢節男	国税庁長官	山室英男	NHK解説委員長	佐野忠克	通産省宇宙産業室長	河野洋平	衆議院議員	藤井康男	龍角散社長	森亘	東京大学総長	田川誠一	進歩党代表衆議院議員	寺島祥五郎	当会理事	水城武彦	NHK解説委員	大山晃人	当会理事	中澤忠義	中小企業庁長官	吉國隆	農林水産省大臣官房企画室長	天谷直弘	(財)産業研究所顧問	鈴木俊一	東京都知事	黒田眞	通商産業省通商政策局長	前川春雄	前日本銀行理事長	大山晃人	NHK解説委員	野坂昭如	作家	水野哲	通産省産業政策局	堀江忠男	早稲田大学名誉教授	飯田健一	NHK解説委員	I.A.チヨーフ	駐日ア連邦大使	大山晃人	元NHK解説委員	岩園哲人	前出土雲市長	浅井隆	経済ジャーナリスト	久保宣	前大蔵大臣	青木匡光	メディエターハン接収業	和田俊	朝日新聞編集委員	テレビ朝日ニュース・ステーション	日本株運用ヘッド兼ストラジスト	大山晃人	元NHK解説委員	早坂茂三	田中角栄元秘書	木村時夫	早稲田大学名譽教授	大山晃人	NHK解説委員	中村敦夫	参議院議員	井浦康之	井浦コミュニケーションセントラル	水谷研治	東海総合研究所理事長	木村良浩	東京国際大学教授	山下龜次郎	筑波大学附属病院副院长	武者陵司	下イチエ証券子会社ストラジスト
------	------------	------	-------	------	----------	------	-----------	------	-------	------	-------	----	--------	------	------------	-------	------	------	---------	------	------	------	---------	-----	---------------	------	------------	------	-------	-----	-------------	------	----------	------	---------	------	----	-----	----------	------	-----------	------	---------	----------	---------	------	----------	------	--------	-----	-----------	-----	-------	------	-------------	-----	----------	------------------	-----------------	------	----------	------	---------	------	-----------	------	---------	------	-------	------	------------------	------	------------	------	----------	-------	-------------	------	-----------------

(講演会の主な講師) (講演時役職) (敬称略)

川崎真一郎	第一生命経済研究所 中谷元 元防衛庁長官 衆議院議員	林良造 東京大学教授 主任研究员	金子一義 国務大臣 元経済産業省経済産業政策局長	山口義行 立教大学教授 NHK解説主幹 みんなの党代表 衆議院議員	渡辺喜美 みんなの党代表 衆議院議員	斎藤精一郎 千葉商科大学大学院教授 NITテータ経営研究所所長 産業再生委員長	高木新一郎 ㈱産業再生機構 元金融担当大臣	伊藤達也 千葉商科大学教授 NITテータ経営研究所所長 産業再生委員長	斎藤精一郎 千葉商科大学大学院教授 NITテータ経営研究所所長 産業再生委員長
佐々木和男	学校法人静岡理工科大学理事長	社会経済学者 エコノミスト	佐々木和男	学校法人静岡理工科大学理事長	元三養商事㈱本部長	サウディ石油化學㈱前社長	三原淳雄 経済評論家 株式評論家	石川一洋 NHK解説委員	元モスクワ支局长
山田伸一	NHK解説主幹 みんなの党代表 衆議院議員	元経済産業省経済産業政策局長	山田伸一	NHK解説主幹 みんなの党代表 衆議院議員	元三養商事㈱本部長	サウディ石油化學㈱前社長	佐々木和男	石川一洋 NHK解説委員	元モスクワ支局长
斎藤精一郎	千葉商科大学大学院教授 NITテータ経営研究所所長 産業再生委員長	千葉商科大学教授 NITテータ経営研究所所長 産業再生委員長	斎藤精一郎	千葉商科大学大学院教授 NITテータ経営研究所所長 産業再生委員長	元三養商事㈱本部長	サウディ石油化學㈱前社長	三原淳雄 経済評論家 株式評論家	石川一洋 NHK解説委員	元モスクワ支局长
伊藤達也	千葉商科大学教授 NITテータ経営研究所所長 産業再生委員長	千葉商科大学教授 NITテータ経営研究所所長 産業再生委員長	伊藤達也	千葉商科大学教授 NITテータ経営研究所所長 産業再生委員長	元三養商事㈱本部長	サウディ石油化學㈱前社長	佐々木和男	石川一洋 NHK解説委員	元モスクワ支局长

昭和9年(1934)設立

財務省許可 社団法人 昭和経済会

昭和経済 23—1月号

昭和25年6月24日 第3種郵便物認可(毎月1回1日発行)  
昭和25年10月19日 日本国有效特許登録第1797号

# 昭和経済会

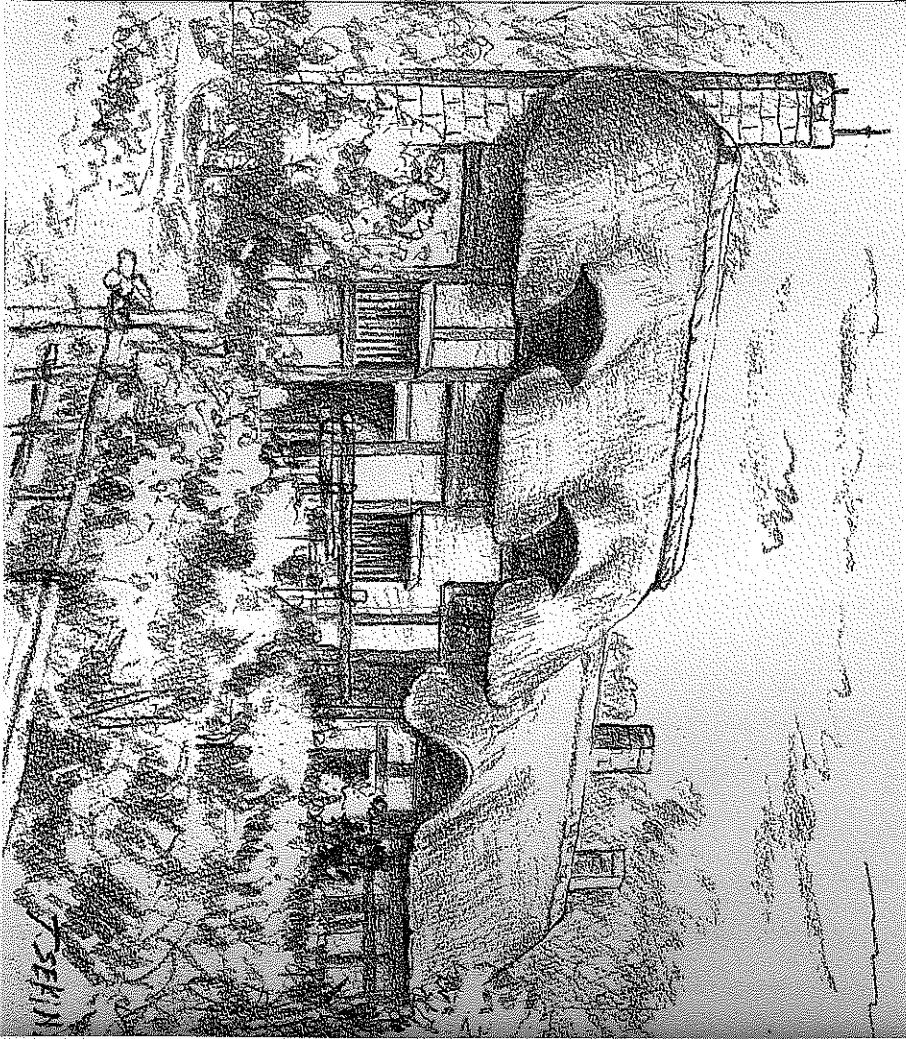
Manager Association of Japan

第62巻1号  
23年新春1月号

国会図書館永久保存

課題山積・日本の将来  
「時局論壇」「民主に300議席の呪縛」  
会社の活性化と人材の發揮

渡辺 喜美  
御厨 高木新二郎  
貴二郎



## Showa Economic Study Association

企業家・経営者団体

財務省本省許可

社団法人 **昭和経済会**

事務局 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2

TEL 6820-6000・3271-8846 FAX 3271-3104

<http://www.showa-ec.or.jp/>

e-mail info@showa-ec.or.jp

アン・ハサウェイの生